整理番号
250 -(会計)01-般会計(款)04衛生費(項)02清掃費(目)02塵芥処理費(大事業)03資源化ごみ処理及び施設維持管理経費

決算書頁 245

		コード	名称			事業期間		会計-蒜	次-項-目-大事業-中事業
基本情報	施策	2-5	一般廃棄物		H16	年度~	R6 年度	01	-04-02-02-03-01
本標	基本事業	2	ごみの資源化		le de		・課名 等		評価責任者•連絡先
報	事務事	サク	資源化ごみ処理及び施設維持管理	奴弗		人権生活環 策課さくら!			所長 南 一朗
150	争伤争	未有	貝原化この処理及び肥設権符官項	ниа	ター	フリインル	رن	0595-20-9272	
	対:	象	伊賀北部地域(旧上野市、旧阿山郡	③)の一般廃棄物(金属	頁)				
	目	的	一般廃棄物のうち金属類などから資	で で で で で き り で き り で り り り り り り り り り	し、売却す	⁻ る			
	根拠法	令等							
事務事業の概要	内:	容	廃棄物の処理及び清掃に関する法院 廃棄物から資源化物を選別、破砕処 【主な再資源化物と売却金額】 紙・布類 6,205,980円 金属類(鉄くず) 475,420円 金属類(アルミくず) 811,200円 金属類(電気コート) 1,786,680円 アルミ缶 4,254,965円 小型家電 176,860円 廃食用油 272,650円 鉄(スクラップ) 128,500円 く合計> 14,112,255円			上野市、旧門	可山郡) か	ら搬入さ	れた金属類などの一般
概要	主な約	を経費 を終われる 1,813,763 1 1,813,				^{立処分委託料(杉} . 警備等 . 水道料金	朱)ヤマゼン、三	メンテナンス	
			計	204,315,970円					

						-	·		
			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0	0	0	ごみ等処理手数料 11,394,500円
		接	地方侵	į	60,700	47,800	49,200	34,800	不燃性廃棄物処理手数料 3,601,000円 物品等売払代金 9,902,593円
		事	その他		28,799	16,016	26,855	18,079	再商品化合理化拠出金 1,957,218円
全 体		業費	一般財	源	135,631	163,758	128,261	161,359	
体コ		負	合計(A)	225,130	227,574	204,316	214,238	
コ ス	事		正規職員	業務量	0.55 人	0.55 人	0.55 人	0.55 人	
۲	事業費		正况삓貝	人件費	4,297	4,271	4,271	4,256	
Ŷ Ŧ	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件	竹口巾帼貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	4,297	4,271	4,271	4,256	
	合計(A+B)		229,427	231,845	208,587	218,494			
	市	民1人	、当たりのコス	ト(円)	2,534	2,598	2,337	2,489	

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	資源化物売払量	処理した金属類を売払した量		目標	600	600	600	600
標	貝源化初元仏里	処理した並属類を元払した重	τ	実績	767			
	指標化できない成果	i民生活環境の向上度		達成	127.8%			

方	改善
白	W D

ごみ燃料化施設の中継所化に伴い、維持管理業務を見直す。また、分別見直しに合わせて必要な改善を実施する。

改善案

決算書頁 整理番号 (会計)01一般会計(款)04衛生費(項)02清掃費(目)02塵芥処理費(大事業)03資源化ごみ処理及び施設 251 245 維持管理経費 事業期間 会計-款-項-目-大事業-中事業 名称 コード 施策 2-5 -般廃棄物 H16 年度~ R6 年度 01-04-02-02-03-02 基本事業 1 ごみの処理コスト削減 部・課名 等 評価責任者·連絡先 担当 人権生活環境部廃棄物対 所長 南 一朗 部署 事務事業名 ストックヤード維持管理経費 策課さくらリサイクルセン 0595-20-9272 対 象 伊賀北部地域(旧上野市、旧阿山郡)の一般廃棄物(紙・布類) 目 的 ー時保管し、業者へ引き渡す 根拠法令等 伊賀北部地域(旧上野市、旧阿山郡)から収集した紙・布類を業者へ引き渡すまでの間の一時保管のための適正管理を行 いました。 内容

	経費	金額	摘要
	委託料	3,091,310円	運営業務委託料 伊賀市シルバー人材センター
		191,400円	警備業務委託料 イセット(株)
		94,519円	樹木剪定委託料
声光/	光熱水費	515,979円	電話料金
事業に要した主な経費	通信運搬費	89,018円	
エは柱負 など	修繕料	227,436円	
<i>،</i> هد			
	計	4,209,662円	

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
					R2年及次昇	RS年度ヨ彻丁昇	RS年度次昇		
		直	国県支出金 地方債		0	0	0	0	物品等売払代金 4,209,662円
		接			0	0	0	0	
		事	その他		0	3,791	4,210	6,625	
全 体		業費	一般財源		4,242	389		0	
体	事業費	貸	合計(A)	4,242	4,180	4,210	6,625	
コス			正規職員	業務量	0.25 人	0.25 人	0.25 人	0.25 人	
۲			正况啾貝	人件費	1,953	1,941	1,941	1,935	
<u> </u>	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
(千円		件	丹江川嶼貝	人件費	0	0	0	0	
· ·		費	会計年度任	業務量	人	人	人	人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	1,953	1,941	1,941	1,935	
			合計(A+B))	6,195	6,121	6,151	8,560	
	市民1人当たりのコスト(円)				69	69	69	98	

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	紙・布類の搬出量	業者へ引き渡した量		目標	1,000	1,000	1,000	1,000
標	机•୩與砂板山重	未有へ引き返した里	ι	実績	1,129			
	指標化できない成果	市民生活の向上度		達成	112.9%			

方 改善 関 改善 改善 素

 整理番号
 (会計)01一般会計(款)04衛生費(項)02清掃費(目)02塵芥処理費(大事業)04不燃物処理及び施設維持管理経費

事業期間

名称

計

決算書頁 245

会計-款-項-目-大事業-中事業

	/					3 -147731113				
基	施策	2-5	一般廃棄物		H16	年度~	R6 年度	01	1-04-02-02-04-01	
本	基本事業	1	ごみの処理コスト削減				•課名等		評価責任者·連絡先	
帽報	古沙古	* 47	不燃物処理及び施設維持管理経費		担当部署		環境部廃棄		所長 南 一朗	
TIA	事務事	事業名の小然物処理及び施設維持官理経費		Ĺ	마습	策課さくらリサイクルセン ター		ゼン	0595-20-9272	
	41	4		W.O. 如应弃些/工一						
	対	家	伊賀北部地域(旧上野市、旧阿山郡	邶)の一般廃業物(風・□	コンクリートなど)					
	目	的	再資源化出来ない不燃物を埋め立	て処理する						
	根拠法	令等								
事務事業の博	内:	容	伊賀北部地域(旧上野市、旧阿山郡 処理場の適正な保全管理を行いま		瓦・コンクリ	一トなど不	燃物を埋め	立て処	理しました。また、不燃物	
概要			経費	金額			摘到	更		
_			委託料	297,000円 3	環境調査業	務委託(株)	中部環境技	術センタ	ター	
				589,600円		託 伊賀市	īシルバー人	、材センタ	ター	
			燃料費	72,241円						
	事業に要した		光熱水費	14714000	電気料金、	水道料金	ř			
	重要に	毎し ナー		· ·			-			
			修繕料	2,928,318円	重機修繕料		-			
	事業に発生する	圣費	修繕料 通信運搬費	2,928,318円 31,843円	重機修繕 電話料金	料等				
	主な約	圣費	修繕料 通信運搬費 消耗品費	2,928,318円 31,843円 8,765円	重機修繕料	料等				
	主な約	圣費	修繕料 通信運搬費	2,928,318円 31,843円	重機修繕 電話料金	料等				
	主な約	圣費	修繕料 通信運搬費 消耗品費	2,928,318円 31,843円 8,765円	重機修繕 電話料金	料等				

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0	0	0	不燃性廃棄物処理手数料 4,173,916円
		接	地方債	ŧ	0	0	0	0	
		接事	その他		2,153	4,960	4,174	2,191	
全体		業典	一般財源		0	0	0	0	
体コ		費	合計(A)	2,153	4,960	4,174	2,191	
コス	事		正規職員	業務量	0.25 人	0.25 人	25.00 人	0.25 人	
7	事業費		止况삓貝	人件費	1,953	1,941	194,100	1,935	
1 1	費	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
田田		件	丹江川嶼貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	
			用職員	人件費	1,907	1,596	1,596	1,617	
			小計(B)	3,860	3,537	195,696	3,552	
	合計(A+B)		6,013	8,497	199,870	5,743			
	市	民1人	、当たりのコス	ト(円)	67	96	2,240	66	

4,173,916円

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	処理量	埋立処分した量		目標	1,500	1,500	1,500	1,500
標	处垤重		ι	実績	1,528			
	指標化できない成果	5民生活環境の向上度		達成	98.1%			

方 継続 埋立が、地下水、土壌などの環境に及ぼす影響について、調査を行うことにより注意し続ける必要がある。

改善案

(全計)01一般全計(款)04衛生費(項)02清掃費(日)031 尿処理費(大事業)011 尿収集経費

決算書頁 247

			/01 限去計(派/04年工具(境/02/月개貝(日/030/次)	处垤貝	八十未八八	し水収未	性貝	
		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	2-5	一般廃棄物	Ι	16 年度~	R6 年度	0	1-04-02-03-01-01
本情	基本事業	3	生活排水の適正処理		部	•課名等		評価責任者·連絡先
報	事務事	業名	し尿収集経費	担当部署	人権生活 策課浄化	環境部廃棄 センター	物対	所長 水瀧 房吾 0595-23-1179

対 象	旧上野市市街地における収集を希望	望する世帯のし尿							
目的	適切に収集する								
根拠法令等	尹賀市廃棄物の処理及び清掃に関する条例								
内 容	集に関する業務を、市の直営区域と 直営による収集は、市内中心市街地 が、電話連絡等があれば随時、その 令和3年度は、収集困難世帯等の作 (直営収集による事業実績) ・し尿収集 件数 9,448件 収集量 2,179,290リットル ・し尿汲取券売捌き	・し尿収集 件数 9,448件 収集量 2,179,290リットル ・し尿汲取券売捌き 件数 234件(取扱店数 55箇所)							
	経費 金額 摘要								
	需用費 3,821,673円 消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料								
	手数料 1,012,041円 し尿汲取券売捌手数料								
自動車借上料 3,161,400円 バキューム車リース料									
市業1-市1 4	備品購入費	74,800円	洗濯機						
事業に要した	負担金	13,000円	三重県安全運転管理者協議会負担金						

						*	•			
			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、	特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0	0	0		
		接	地方債	ŧ	0	0	0	0		
		事	その他	Ţ.	0	0	0	0		
全体		業費	一般財源		19,213	8,814	8,083	8,261		
		貝	合計(A	.)	19,213	8,814	8,083	8,261		
コス	事		正規職員	業務量	6.50 人	6.80 人	6.80 人	6.50 人		
7	事業費		正况啾貝	人件費	50,772	52,796	52,796	50,291		
1 1	費	人	再任用職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人		
H		件	竹口巾帼貝	人件費	3,850	3,531	3,531	3,590		
)		費	会計年度任	業務量	5.70 人	5.70 人	5.70 人	5.70 人		
			用職員	人件費	10,870	9,098	9,098	9,217		
			小計(B	3)	65,492	65,425	65,425	63,098		
			合計(A+B))	84,705	74,239	73,508	71,359		
	市民1人当たりのコスト(円)				936	832	824	813		

8,082,914円

指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
旨 し尿収集量	市直営し尿収集によるし尿の		目標	2200000	2100000	2000000	1900000
ラ	収集量	Q	実績	2179290			
指標化できない成果			達成	101.0%			

方 ____縮小

主な経費など

計

人口の低下、下水道整備に伴い、生し尿の収集量が年々低下しており、市直営の収集業務について見直しが必要である。

市直営のし尿収集業務の民間移行に向けた協議を行い、将来的には、し尿収集運搬許可業者等に移管する方向で調整 な を行う。 善 整理番号 (会計)01一般会計(款)04衛生費(項)02清掃費(目)03し尿処理費(大事業)02し尿処理及び施設維持管理

		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	2-5	一般廃棄物	H1	6 年度~	R6 年度	0	1-04-02-03-02-01
本情	基本事業	3	生活排水の適正処理		部	・課名 等		評価責任者·連絡先
報			し尿処理及び施設維持管理経費	担当部署	人権生活環 策課浄化七	環境部廃棄 2ンター	物対	所長 水瀧 房吾 0595-23-1179

事務事業名	3	し尿処理及び施設維持管理経費	担当部署	人権生活環境部廃棄物対 策課浄化センター	所長 水瀧 房吾 0595-23-1179						
対 象		市内より排出されるし尿及び浄化槽	污泥								
目的	衛生的な処理及び適正な管理を行う										
根拠法令等	根拠法令等 伊賀市清掃施設の設置及び管理に関する条例										
令和2年4月から青山地区を含めた市内全域のし尿及び浄化槽汚泥を処理することができる新処理施設が稼働した。また、運転管理については、15年間の長期包括契約を、プロポーザル方式で決定した業者と締結しました。令和3年度においても、効率的な運転管理により、し尿及び浄化槽汚泥を適正に処理しました。●施設処理能力 170KI/日 処理方式 膜分離高負荷脱窒素方式主な施設維持管理業務委託 ・新施設運転管理業務委託 ・新施設運転管理業務委託(15年間の長期包括委託契約) 316,800,000円(クボタ環境・伊賀環協共同体)主な施設設備保守点検業務委託 ・第2処理場槽内残渣処分業務(単価契約) 26,665,980円(三重中央開発株式会社)・第2処理場槽内残渣清掃、運搬業務委託 34,650,000円(伊賀環境整備事業協同組合) 概											
K E		経費	金額		摘要						
		消耗品費	252,357円								
		燃料費	26,425円								
		修繕料	1,016,400円		修繕等						
事業に要し	<i>t-</i>	通信運搬費	143,484円		ケロ光なチ チャル						
主な経費		施設維持管理委託料			管理業務委託料 機由球体速線運搬加盟業	'ka fete					
など		施設設備保守点検委託料	61,412,/80円	弗 2処埋場	槽内残渣清掃運搬処理業務	^{饬寺}					

803,220円 PCB処理業務委託等

105,232円 借上料、NHK受信料、污染負荷量賦課金

2,882,000円 補修 改修工事費

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算				
		直	国県支出	金出金	0	0	0	0	・その他			
		接	地方侵	Ę	0	0	0	0	し尿汲取手数料 25,041千円 し尿処理手数料 10,706千円			
全:	事 その他 37,901 35,810 35,777 33,139 電気ガス使用料						電気ガス使用料 29千円					
		業費	一般財	源	291,090	339,332	350,635	286,304				
体コ		貝	合計(A)	328,991	375,142	386,412	319,443				
コス	事業費		正規職員	業務量	0.70 人	1.20 人	1.20 人	1.00 人				
7			正况삓貝	人件費	5,468	9,317	9,317	7,737				
1 1	費	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
円円		件	丹江川嶼貝	人件費	0	0	0	0				
.)		費	会計年度任	業務量	0.30 人	0.30 人	0.30 人	0.30 人				
			用職員	人件費	573	479	479	486				
			小計(B)	6,041	9,796	9,796	8,223				
			合計(A+B))	335,032	384,938	396,208	327,666				
	市民1人当たりのコスト(円)				3,700	4,313	4,439	3,733				

386,411,898円

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	水質検査の合格率	毎月放流水の水質検査を行	%	目標	100%	100%	100%	100%
標	小貝快重の 6 竹平	い、適正に処理する。	90	実績	100%			
	指標化できない成果			達成	100%			

方 継続

など

廃棄物処理委託料 工事請負費

計

その他経費

令和2年度から青山地区を含めた伊賀市全域のし尿・浄化槽汚泥を処理できる新施設が稼働した。

近年の搬入量の推移については、し尿は減少しているが浄化槽汚泥は増加しており、結果として処理量は微増傾向にあ り、日によっては新施設の処理許容量を超えることもある。

処理能力に応じた運転管理を行えるよう搬入量の調整を行うと伴に、運転管理委託業者に適切な処理を行うように指導す 改 る。 善

整理番号 255 - (会計)01一般会計(款)05労働費(項)01労働費(目)01勤労者福祉会館運営費(大事業)01勤労者福祉会館管理運営経費

事業期間

名称

計

 決算書頁

 247

会計-款-項-目-大事業-中事業

基	施策	999	施策なし		H16	年度~ R4 年度	0	1-05-01-01-01-01				
本	基本事業		基本事業なし			部・課名 等		評価責任者·連絡先				
報	古水市	* 47	业业老有机入约然中军党权 建		担当部署	本类标图如本工学科	.=m	課長 前川 博善				
TIA	事務事	耒石	勤労者福祉会館管理運営経費		마佰	産業振興部商工労働	l誄	0595-22-9669				
		<i>h</i>				<u> </u>						
	対	家	_									
	目	的	_									
	根拠法	令等	公共施設最適化計画									
			・老朽化が著しい「上野ふれあいプ	ラザ」と「勤労者福祉会	館」の機能	を併せ持った施設とし	て、地域	或福祉及び勤労者の福利				
			の増進を図るため、「伊賀市総合福	祉会館」を設置し、令和	口2年4月1	日から供用開始しまし	た。					
	・機能移転後の「勤労者福祉会館」については、解体工事及び工損調査(近隣家屋への事前調査)を実施しました。											
	内:	容										
		_										
事												
伤事												
業												
の												
務事業の概要			経費	金額			更					
安			委託料		汚泥引抜	等業務委託料	~	539,660円				
						含有調査業務委託	料	154,000円				
						業務委託料	- 1	1,683,000円				
			工事請負費	26,739,900円	建物除却	工事費						
	事業に			. , ,								
	主な糸 なと											
	45	-										

						.	·		-
			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0	0	0	地方債:25,400,000円
		接	地方侵	責	2,647	27,900	25,400	0	その他(公共施設最適化基金):3,022,900円
		事	その他	<u> </u>	0	1,523	3,023	0	
全体		業費	一般財	源	529	825	694	2,118	
体コ		貝	合計(A)	3,176	30,248	29,117	2,118	
コス	事		正規職員	業務量	0.21 人	0.21 人	0.15 人	0.15 人	
7	事業費		正况嘅貝	人件費	1,641	1,631	1,165	1,161	
1 1	費	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
円円		件	中口用赖貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	1,641	1,631	1,165	1,161	
		合計(A+B)			4,817	31,879	30,282	3,279	
	市民1人当たりのコスト(円)				54	358	340	38	

29,116,560円

指標名	指標の説明	単位	/	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
指 施設利用人数	年間利用実績	ı	目標	1	1	1	_		
標	平间 利用关模	^	実績	_	-				
指標化できない成果			達成	_					

方 廃止 解体工事後の工損調査(近隣家屋への事後調査)を実施するとともに、跡地の維持管理を行う必要がある。

伊賀市総合福祉会館へ機能移転し、既に目的は一定程度達成されているが、跡地について土地返還を行う。

課題

コード

<u>整理番号</u> (会計)01一般会計(款)05労働費(項)01労働費(目)02労働諸費(大事業)01シルバー人材センター運営等

送等 | 決算書頁 | 249

		作具							
		⊔ 1,	名称		事	事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	3-6	就業·起業	Н	16 4	年度~	R6 年度	0	1-05-01-02-01-01
本情	基本事業	1	就労支援、職業相談	担当		部•	課名 等		評価責任者·連絡先
報			シルバー人材センター運営等経費			業振興部	乃西工労働	課	課長 前川 博善 0595-22-9669

		3,466,64,000,1111111111111111111111111111		1		#: III 7 III II
日	事務事業名	シルバー人材センター運営等経費		担当部署	産業振興部商工労働課	課長 前川 博善 0595-22-9669
	対 象	市内在住の高年齢者				
	目的	高年齢者の就業機会の確保を目的とする	伊賀市シルバー人材センター	−を支援し仕	上事の受託件数を増加させることで	、高年齢者の雇用創出を図る
	根拠法令等	高年齢者等の雇用の安定等に関す	る法律			
事务事をつびる	内 容	高年齢者等の雇用の安定等に関す バー人材センターの運営費及びシル (令和4年3月末の会員数:740名) 高年齢者職業相談を22回開催し、1	レバー人材センター高齢	者活用·玎		
英		経費	金額		摘要	
Ĭ		負担金、補助及び交付金	i i		バー人材センター協会負担 バー人材センター連合会負担	·
					・ハー人 例 センダー 建合 芸 貝 st ンター高年齢者就業機会確保事業費補	
	事業に要した 主な経費 など					, , ,

			-			*			
			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出	0	0	0	0	
		接	地方侵	į	0	0	0	0	
		事	その他	<u>p</u>	0	0	0	0	
全体		業費	一般財	源	15,751	15,531	15,331	15,531	
体コ		貝	合計(A)	15,751	15,531	15,331	15,531	
コス	事		正規職員	業務量	0.25 人	0.25 人	0.15 人	0.15 人	
7	事業費		正况鸭貝	人件費	1,953	1,941	1,165	1,161	
1 1	費	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
円		件	竹口巾帆貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	1,953	1,941	1,165	1,161	
		合計(A+B)			17,704	17,472	16,496	16,692	
	市民1人当たりのコスト(円)			ト(円)	196	196	185	191	

15,331,000円

計

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	仕事の受託件数	シルバー人材センターにおけ る仕事の受託件数	件	目標	5,300	5,300	5,300	5,300
標	は事の支託件数		П	実績	5,210			
	指標化できない成果			達成	98.3%			

方 継続 向 定年延長や再雇用等、高齢者の雇用を取り巻く社会の状況が大きく変化しており、当該センターの会員減少も進んでいる。また、コロナ禍もあり、仕事の受託件数も減少している。

I・Ⅱ. 新型コロナウイルス感染症は落ち着きを見せ始めているので、これを起因とした受託減少は改善しつつあるが、高齢者の就業の場を確保するため、高齢者職業相談を充実させ、当該センターによる企業への営業活動を強化いただくなど、社会状況に応じた会員拡大に対する側面的な支援を行う。

整理番号 257 -

(会計)01一般会計(款)05労働費(項)01労働費(月)02労働諸費(大事業)02雇用, 勤労者対策事業

決算書頁 249

10,000円

:人権学習企業等連絡会負担金

40,000,000円 勤労者住宅・生活資金融資貸付金

131,599円 職業相談員活動等旅費・消耗品費

			/01 仪云可(秋/00分) 新夏(克/01分) 新夏(百/02分) 新	四貝(ノ	(事本/02/4			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業	
基	施策	3-6	就業·起業	H1	6 年度~	R6 年度	0	1-05-01-02-02-01	
本	基本事業 ① ;		就労支援、職業相談		部	・課名 等		評価責任者·連絡先	
铜報	事務事	業名 雇用、勤労者対策事業		担当部署	産業振興部	· (商工学)	神	課長 前川 博善	
	事務事業		事 耒名		注 不 版 八 1	T 1 1 1 1 1 1 1 1 1	אווי	0595-22-9669	

事務事業名	雇用、勤労者対策事業		産業振興部商工労働課	0595-22-9669										
対 象	地元での就職を希望する学生及び	元での就職を希望する学生及び求職者、市内の労働福祉団体及び市内に居住・勤務する労働者 元企業への就職による地域経済の後継者を育成する。市内に居住、勤務する労働者に対して労働者福祉の向上を図る。												
目的	地元企業への就職による地域経済	元企業への就職による地域経済の後継者を育成する。市内に居住、勤務する労働者に対して労働者福祉の向上を図る。 内に居住する未就職者及び離職者の生活環境の安定的な向上を図るため、職業相談員を配置し、求人や求職情報の												
根拠法令等														
内 容	収集及び提供などの職業相談業務・「いが若者サポートステーション」等・地域協働事業、学習支援、文化体した。・名張市、上野商工会議所、伊賀市を開催しました(開催日:①令和3年のフォローアップとして、学生や求職実施し、更なる地元雇用の促進を図・勤労者の生活安定、福祉向上のた・若者世代への産業プロモーションの	にあたり、就労支援に取ると連携し、臨床心理士育活動など、勤労者福商工会、名張商工会議4月21日~24日②令利者と参加企業のマッチ間りました。こめ、金融機関と連携したして、三重大学生に伊	双り組みました。 によるカウンセリング経費に対して支援 祉事業を運営する伊賀地区労働者福祉 所との共催により、U・J・Iターンを含むV D4年3月4日、参加企業:69社、参加者 ングを後押しするとともに、企業(受入側	を行いました。 協議会への支援を行いま NEB版合同就職セミナー :73人)。セミナー開催後 引)を対象とした勉強会も 会を提供しました。										
t	経費	金額	摘要											
	報償費	,		射礼										
	委託料	信費												
	負担金、補助金及び交付金	,	助労者福祉事業補助金											
事業に要した		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	J・J・Iターン促進事業負担金											
主な経費		220,000円 そ	その他負担金(4件):三重県職業能力開発協会負	-,										
など			: 労務対策協議会負担金	,										
			:研修会等参加負担金	4,000円										

			-			•	"		<u> </u>
			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出	0	713	713	0	国県支出金(地方創生推進交付金):713千円
		接	地方侵	į	0	0	0	0	その他(勤労者住宅・生活資金融資貸付金元利収入):40,000千円
		事	その他	þ	40,000	40,000	40,000	40,000	
全体		業費	一般財	源	1,015	2,331	1,560	1,618	
体コ		貝	合計(A)	41,015	43,044	42,273	41,618	
ス	事			業務量	0.63 人	0.63 人	0.20 人	0.20 人	
+	事業費		正况顺良	人件費	4,921	4,892	1,553	1,548	
Ŷ Ŧ	費	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
H		件	中口用赖貝	人件費	0	0	0	0	
\sim		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	1.00 人	1.00 人	
			用職員	人件費	0	0	1,596	1,617	
			小計(B)	4,921	4,892	3,149	3,165	
			合計(A+B))	45,936	47,936	45,422	44,783	
	市民1人当たりのコスト(ト(円)	508	538	509	511	

42,272,209円

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	内定者数	合同就職セミナーをきっかけ として内定した人数(前年実績	1	目標	4	4	5	6
標		値)	^	実績	4			
	指標化できない成果			達成	100.0%			

方 継続 ・合同就職セミナーへの参加者数が少ない。

・令和3年度で終了した産業プロモーション事業に代わる、若い人に地域の企業を知ってもらう機会の創出が必要になっている。

I・II.参加者が増えるよう合同就職セミナーの開催時期や広報活動内容の見直しを行う。 労務対策協議会など関係機関と連携し、成果が出るよう新たな施策を検討する。

攻善案

貸付金

その他

計

対 象

農業者及び農地所有者

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)01農業委員会費(大事業)02農業委員会管理経費

決算書頁 251

_		\ A III	/01 版公前、旅/00版件未复、安/01版未复、百/01版	ハススス	A 20 (7 (T)	个/ 5 上 及 才	`^,	A D TAR E
		⊔ 1,	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基			農業	H16	年度~ R3 年度		0	1-06-01-01-02-01
本情	基本事業	3	担い手の確保・育成		部	・課名 等		評価責任者·連絡先
報	事務事	業名	事務局管理経費	担当部署	伊賀市農業	美委員会事	務局	事務局次長 福山 朋宏 0595-22-9720
					•			

	目的	農業生産力の増進及び農業経営の)合理化を図る。					
	根拠法令等	農業委員会等に関する法律、農地流	法、農業経営基盤強化	:促進法				
事務事業の概要	内 容	○農業委員会の運営 ・年次総会(1回)、新規営農面接審査会(11回、21件)、月次総会及び役員会(各12回)、研修会の開催1回(農業委員24名・農地利用最適化推進委員56名の合同研修会) ・市広報掲載(6月号:農地パトロール強化期間、3月号:令和4年度総会日程、令和4年度農作業賃金) ・農家の相談業務(随時、農地法許認可申請等) ○法定業務 ・農地法の権利移動の審査・許可業務(第3条:166件、第4条:22件、第5条:142件、非農地:30件) ・遊休農地に関する措置(農地パトロールによる利用状況調査・利用意向調査) ・農業経営基盤強化促進法に基づく業務(利用権設定:836件、所有権移転:9件) ○農業振興業務 ・農業及び農業者に関する情報提供の業務 ・農地基本台帳の整備及び地図情報化の推進に関する業務						
June								
概要		経費	金額	摘要				
被要		報酬						
概要		1-23	11,505,096円					
概要		報酬	11,505,096円 260,665円	農業委員会委員、農地利用最適化推進委員				
)概要	市業に悪した	報酬旅費	11,505,096円 260,665円 266,588円	農業委員会委員、農地利用最適化推進委員 農業委員会委員、農地利用最適化推進委員実費弁償				
微要	事業に要した	報酬 旅費 需用費	11,505,096円 260,665円 266,588円 120,000円	農業委員会委員、農地利用最適化推進委員 農業委員会委員、農地利用最適化推進委員実費弁償 消耗品費、印刷製本費				
概要	主な経費	報酬 旅費 需用費 役務費	11,505,096円 260,665円 266,588円 120,000円 3,630,000円	農業委員会委員、農地利用最適化推進委員 農業委員会委員、農地利用最適化推進委員実費弁償 消耗品費、印刷製本費 農業委員等公務災害保険料				
機要		報酬 旅費 需用費 役務費 委託料	11,505,096円 260,665円 266,588円 120,000円 3,630,000円 261,360円	農業委員会委員、農地利用最適化推進委員 農業委員会委員、農地利用最適化推進委員実費弁償 消耗品費、印刷製本費 農業委員等公務災害保険料 電算処理等委託料 [委託先](株)ジオフォーラム				

	直接		項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		古	国県支出	出金	7,432	11,031	8,295	9,858	県補助金
		接	地方信	ŧ	0	0	0	0	·農業委員会交付金 6,567,000円 ·農地利用最適化交付金 1,728,000円
		事	その化	<u>†</u>	0	0	0	0	
全		業費	一般財	源	8,843	8,340	9,004	9,205	
体コ		貝	合計(A	.)	16,275	19,371	17,299	19,063	
コス	事業費		正規職員	業務量	3.50 人	3.50 人	3.50 人	3.50 人	
۲			止炕嶼貝	人件費	27,339	27,174	27,174	27,080	
1	賀	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
占		件	竹江川柳貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.60 人	0.60 人	0.60 人	0.60 人	
			用職員	人件費	1,145	958	958	971	
			小計(B	()	28,484	28,132	28,132	28,051	
	É		合計(A+B)		44,759	47,503	45,431	47,114	
	市民1人当たりのコスト(円)				495	533	509	537	

	指標名	指標の説明	単位	/	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	利用権を設定した筆数	所有者の高齢化等で耕作困 難となった農地を担い手に貸	筆	目標	2,000	2,000	2,000	2,000
標	利用権を設定した事数	すことで、農業経営の合理化 を図る。	丰	実績	2,712			
	指標化できない成果	農地転用申請精査による優良農地の確保。		達成	135.6%			

改善

農業者の高齢化や後継者不足により、遊休農地等が年々増加している。

これまでは、農業委員や農地利用最適化推進委員による農地パトロールを夏場の強化期間しか行っていなかったが、冬 されるでは、農業 改 場にも実施する。 善

<u>整理番号</u> (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)01農業委員会費(大事業)03農業者年金関係業務 経費

事業期間

名称

決算書頁 251

会計-款-項-目-大事業-中事業

季	施策	3-2	農業		H16	年度~	R3 年度 0	1-06-01-01-03-01		
本	基本事業	3	担い手の確保・育成		la de	部	・課名 等	評価責任者·連絡先		
報	事務事業	坐 夕	農業者年金業務経費		担当 部署	伊智古農業	美委員会事務局	事務局次長 福山 朋宏		
	71777	*11	反不行千亚木切柱員		HP II	ア貝川成オ	大女员 女争切问	0595-22-9720		
	対象	象	20歳以上の加入資格を有する農業	者、加入者及び受給者						
	目由	勺	農業者の老後の生活の安定及び福	祉の向上のため。						
	根拠法金	令等	独立行政法人農業者年金基金法							
事務事業の概要	内容	ųži	て加入促進活動を行ったが、新規加 ・年金給付に関する業務 裁定請求、現況届、死亡関係届	産進記事掲載を行うととも 1入者は0名となった。 、口座変更届等に関する	うとともに、毎月の農業委員会役員会での新規営農面接審査会においた。 関する書類受付・精査及び独立行政法人農業者年金基金への提出。 き移譲の指導や年金受給者の無届での農業の再開防止。					
似要	事業に要 主な経 など	費	経費 需用費 役務費 計	金額 4,615円 済 4,556円 道 9,171円		費	摘要			

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0	0	0	諸収入、委託事業収入
		接	地方債	責	0	0	0	0	農業者年金業務委託事務費 483,900円
		事	その化	Ţ.	16	18	10	17	
全体		業費	一般財	源	0	0	0	0	
体二		貝	合計(A)	16	18	10	17	
コス	事業費		正担職員	業務量	0.50 人	0.50 人	0.50 人	0.50 人	
7			正規職員	人件費	3,906	3,882	3,882	3,869	
Ŧ	費	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
H		件	竹口巾帼貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.40 人	0.40 人	0.40 人	0.40 人	
			用職員	人件費	763	639	639	647	
			小計(B)	4,669	4,521	4,521	4,516	
			合計(A+B))	4,685	4,539	4,531	4,533	
	市民1人当たりのコスト(円)				52	51	51	52	

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	農業者年金新規加入数	年度末時点の年金新規加入		目標	1	1	1	1
標	辰未有牛並制成加八奴	者数	^	実績	0			
	指標化できない成果 玛	 現年金加入者及び年金受給者に関する業務		達成	0%			

方 継続 農業者年金の新規加入者が極めて少ない。

農業者年金の新規加入対象者の特定ができないため、加入促進活動の機会を増やして制度の周知を図る。

改善案

課題

整理番号 決算書頁 (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)01農業委員会費(大事業)04農地集積・集約化対策 260 事業 事業期間 コード 名称 会計-款-項-目-大事業-中事業 施策 3-2 農業 H23 年度~ R3 年度 01-06-01-01-04-01 基本事業 3 担い手の確保・育成 部・課名 等 評価責任者•連絡先 担当 事務局次長 福山 朋宏 部署 事務事業名 機構集積支援事業 伊賀市農業委員会事務局 0595-22-9720 対 象 市内の全農地と遊休農地所有者 担い手への農地集積・集約化を図るため。 目 的 根拠法令等 ・農地中間管理機構等との連携を効果的かつ効率的に遂行するために、市内にある農地の利用状況について、6月~8月 にかけて、農地法第30条に基づく利用状況調査(田畑併せて36,129筆)を実施。 ・調査結果を取りまとめ、遊休農地所有者に対し農地利用意向調査(186件、504筆、53.61ha)を実施。 ・調査結果を農地情報支援システムにデータを入力。 ・遊休農地の利用意向調査対象・・・・・農地法第32条第1項または第32条第1項の規定に該当する農地の所有者 内容

	経費	金額	摘要
	需用費	278,337円	印刷製本費(利用意向調査票等)
	役務費	58,206円	通信運搬費(利用意向調査)
事業に要した			
主な経費			
など			
	=1	000 540 5	
	計	336,543円	

						·	.		
			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		中	国県支出	金出	175	395	337	3,719	県補助金
		直接事	地方侵	į	0	0	0	0	・機構集積支援事業費補助金 1,668,000円
		事	その他	<u>þ</u>	0	0	0	0	
全		業費	一般財	源	0	0	0	0	
体コ		貝	合計(A)	175	395	337	3,719	
ス	事		正規職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	
7	業費		止規職貝 ————	人件費	7,811	7,764	7,764	7,737	
(1			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
占		件	竹口加帆貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	
			用職員	人件費	1,907	1,596	1,596	1,617	
			小計(B)	9,718	9,360	9,360	9,354	
	合計(A+B))	9,893	9,755	9,697	13,073		
	市	民1人	、当たりのコスト	ト(円)	110	110	109	149	

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	農業経営基盤強化促進	売り手が農地中間管理機構 に売買、農地中間管理機構が	m²	目標	35,000	40,000	45,000	50,000
標	法による所有権移転の国 積	買い手に売買した農地の面積	=	実績	34,694			
	指標化できない成果の	t果に繋がらないマッチングの活動		達成	99.1%			

方 改善 これまでの「農業振興地域内の遊休農地面積」という指標は適切ではないため、事業を実施した成果の指標に変更する必要がある。

農地利用の意向調査を基に売り手と買い手のマッチングを図る指標に変更する。

多

 整理番号

 261 (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)02農業総務費(大事業)02事務管理経費

決算書頁 251

			名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	3-2	農業	H16	年度~	R6 年度	0	1-06-01-02-02-01
本情	基本事業	1	農畜産物の生産振興	担当	部	・課名 等		評価責任者·連絡先
報			事務管理経費		産業振興部	『農林振興	!課	課長 堀 久仁寿
								0595-22-9712

報	事務事業名	事務管理経費		部署	産業振興部農林振興課	珠女 堀 久仁寿 0595-22-9712			
	対 象	農業振興事業を実施するために必要	要な事務費用等						
	目的	農業振興事業を円滑に実施する							
	根拠法令等								
事務事業の概要	内 容	農業振興団体との連携を図りつつ、	農業に関する一般事務	を行います	す。				
概要		経費	金額		摘要				
		需用費		円 光熱水費860,015円					
	事業に要した 主な経費 など	(120,872円 1,590,852円 月 248,800円	燃料費47,488円 消耗品費132,382円,修繕料829,884円 道路賠償責任保険料(農道・林道)114,750円他 農業情報支援システム保守業務委託132,000円 大内・清水排水樋門操作点検業務委託488,400円 農村公園維持管理371,800円,草刈業務598,652円 電算機借上221,760円他 見泥池揚水施設維持管理事業補助金73,500					
			· ·		:土保全対策基金積立金59.10				

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
		-	国県支出	出金	0	0	0	0	·法定外公共物使用料 2,483,146円		
		接歩の作		ŧ	0	0	0	0	・ふるさと水と土保全対策基金利子 36,536円 ・農業用水管設置使用料 4,600円		
	事その他		<u>þ</u>	2,646	2,350	2,532	2,446	•複写料 8,150円			
全	全 業 一般財源		源	982	1,734	1,430	1,510				
	体				3,628	4,084	3,962	3,956			
ス	事		正規職員	業務量	1.56 人	1.56 人	1.56 人	1.56 人			
7	業費		止炕帜只	人件費	12,186	12,112	12,112	12,070			
+	3		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
À		件	行止用帳貝	人件費	0	0	0	0			
)	費 会計年度任 ^{業務}				0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
			用職員	人件費	0	0	0	0			
	小計(B))	12,186	12,112	12,112	12,070				
	合計(A+B))	15,814	16,196	16,074	16,026			
	市	民1人	、当たりのコス	ト(円)	175	182	181	183			

3,962,901円

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	_			目標		1	1	_
標	_	_	_	実績	_			
	指標化できない成果	事務費であるため <u></u>		達成	_			

方 継続 経常経費ではありますが、削減に努めます。

経常経費ではありますが、削減に努めます。

牧善家

決算書頁

188,100円

99,810円

_			/01 一放云司 (款/00辰怀未复(填/01辰未复(日/02辰	未秘伤的	1(八尹禾)	/04辰坦》	胜付 目 /	生柱貝 ————
		니	名称		事業期間		会計-	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	3-2	農業	H16	年度~	R6 年度	0	1-06-01-02-04-01
本	基本事業	2	農業・農村の多面的機能維持向上		部	・課名 等		評価責任者·連絡先
報	事務事	業名	広域農道·農免道路維持管理経費	担当 部署	産業振興部	部農村整備	請課	課長 岩野 庄司
	平切 平木							0595-22-9718

				0595-22-9718			
対 象	農道利用者						
目的	農道利用者の通行に支障が出ない	ように維持管理を行う。					
根拠法令等	自治会等への草刈り業務委託実施	要領					
内 容	広域道路を常時良好な状態に保つには融雪剤散布等により道路機能を伊賀市農道総延長 L=200.2km、・広域農道・農免道路舗装修繕 N・広域農道草刈業務委託 N=17代・雪氷対策業務委託 N=11件・土砂等撤去業務委託 N=12件(へい、	を維持します。 内直轄農道管理延長 N=5箇所 箇所(シルバー2件、業 蜂巣除去1件)	者6件、地元9件)	。また、路肩の除草、冬期			
	経費	金額					
	需用費	1,409,172円	光熱水費	210,172円			
		1	多繕料	1,199,000円			
			農免道路市部工区舗装補修工事他				
事業に要した	 	· · ·] 草刈業務委託料 17箇所 11,841,000				
主な経費			シルバー2件、業者6件、地元9件				
など			雪氷対策業務委託料	858,033円			
			上砂等撤去業務委託料	97,900円			
			へい獣処理委託料 12件	176,880円			

						•	•		
			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		中	国県支出	金出金	0	0	0	0	
		直接事	地方侵	į	0	0	0	0	
		事	その他	<u>þ</u>	0	0	0	0	
全		業費	一般財	源	14,246	15,192	14,671	14,966	
体コ		貝	合計(A)	14,246	15,192	14,671	14,966	
コス	事		正規職員	業務量	0.40 人	0.40 人	0.40 人	0.40 人	
7	業費			人件費	3,125	3,106	3,106	3,095	
1	費	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人	
H		件	竹口巾帆貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	3,125	3,106	3,106	3,095	
		合計(A+B)			17,371	18,298	17,777	18,061	
	市	民1人	、当たりのコスト	ト(円)	192	205	200	206	

287,910円 資材費

14,670,895円

施設補修材料費

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指				目標				
標				実績				
	指標化できない成果 ^維 な	持修繕のため計画的な事業計画が い。	立てられ	達成				

継続

広域農道等の陥没及び倒木等の緊急対応が必要な箇所の把握。

道路河川課での道路パトロール業務とを連携を図り早期対応を行う。

課題

原材料費

計

整理番号(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)02農業総務費(大事業)05地すべり防止区域維持263 -管理受託事業

決算書頁 253

		ļ	~ m - 7 ×						
	/	コード	名称			事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	3-2	農業		H16	年度~	R6 年度	0	1-06-01-02-05-01
本	基本事業	2	農業・農村の多面的機能維持向上			部。	・課名 等		評価責任者·連絡先
報	事務事	業夕	地すべり防止区域維持管理受託事業	担部		産業振興部	7.農 村 敕 借	讍	課長 岩野 庄司
	子初子	未也	起步。沙伽亚巴埃尼特自在文化事来	HI		庄未派兴 山	及门走师	1111	0595-22-9718
		-			,			•	

事務事業名	地すべり防止区域維持管理受託事	業	部署 産業振興部農村整備課 課長 岩野 庄司 0595-22-9718										
対 象	也すべり防止地域に指定された府中・大谷地区												
目的	農林水産省農村振興局所管県管理	にかかる地すべり防止	区域の維持	持管理を受託して行う。									
根拠法令等	地すべり等防止法(昭和33年法律第	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7											
内 容	号)第3条の規定により府中地区・ヨ	E田地区の地すべり区域	域の巡視管										
	経費	金額		摘要									
	委託料	300,000円 均	也すべり防	5止区域維持管理委託料	300,000円								
事業に要した 主な経費 など				土橋·山神	条·								
	対象 目的 根拠法令等 内容 した 要費	対 象 地すべり防止地域に指定された府中 目 的 農林水産省農村振興局所管県管理 根拠法令等 地すべり等防止法(昭和33年法律第 農林水産省農村振興局所管県管理号)第3条の規定により府中地区・3・府中地区(外山・坂之下・東条・西・三田地区(大谷) A=36.3ha・管理総面積 A=429.2ha	対 象 地すべり防止地域に指定された府中・大谷地区 目 的 農林水産省農村振興局所管県管理にかかる地すべり防止 根拠法令等 地すべり等防止法(昭和33年法律第30号)第3条・第7条 農林水産省農村振興局所管県管理に係る地すべり防止区 号)第3条の規定により府中地区・三田地区の地すべり区域 ・府中地区(外山・坂之下・東条・西条・土橋・山神) A=3・三田地区(大谷) A=36.3ha・管理総面積 A=429.2ha 内 容 経費 金額 委託料 300,000円 は	対 象 地すべり防止地域に指定された府中・大谷地区 目 的 農林水産省農村振興局所管県管理にかかる地すべり防止区域の維持機関法令等 地すべり等防止法(昭和33年法律第30号)第3条・第7条 農林水産省農村振興局所管県管理に係る地すべり防止区域維持管等分)第3条の規定により府中地区・三田地区の地すべり区域の巡視管・府中地区(外山・坂之下・東条・西条・土橋・山神) A=392.9ha・三田地区(大谷) A=36.3ha・管理総面積 A=429.2ha 内 容 経費 金額 300,000円 地すべり版 (府中地区主な経費	事務事業名 地すべり防止区域維持管理受託事業 産業振興部農村整備課 対 象 地すべり防止地域に指定された府中・大谷地区 目 的 農林水産省農村振興局所管県管理にかかる地すべり防止区域の維持管理を受託して行う。 根拠法令等 地すべり等防止法(昭和33年法律第30号)第3条・第7条 農林水産省農村振興局所管県管理に係る地すべり防止区域維持管理事業により、地すべり等防1号)第3条の規定により府中地区・三田地区の地すべり区域の巡視管理・状況調査の委託を行いま・府中地区(外山・坂之下・東条・西条・土橋・山神) A=392.9ha・三田地区(大谷) A=36.3ha・管理総面積 A=429.2ha								

						•	•		
			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		파	国県支出	金比	300	300	300	300	地すべり防止区域維持管理事業委託金
		直接事	地方侵	Ę	0	0	0	0	
		事	その他	その他		0	0	0	
全	事業費	業費	一般財	源	0	0	0	0	
体コ		貝	合計(A)	300	300	300	300	
コス			正規職員	業務量	0.20 人	0.20 人	0.10 人	0.10 人	
7			正况嘅貝	人件費	1,563	1,553	777	774	
1	費	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人	
円		件		人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	1,563	1,553	777	774	
			合計(A+B))	1,863	1,853	1,077	1,074	
	市	民1人	、当たりのコスト	ト(円)	21	21	13	13	

300,000円

計

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	管理面積	地すべり防止を管理する区域	la a	目標	429	429	429	429
標	官垤 囬慎	面積	ha	実績	429			
	指標化できない成果			達成	100%			

方 継続 地すべり等防止法(昭和33年法律第30号)第7条の規定により府中地区・三田地区の地すべり区域の巡視管理・状況調査を実施する。

府中地すべり防止対策事業委員会に委託を行い、地すべり区域の巡視管理・状況調査を実施する。

改善家

264	_	Ι.													-	書頁
		_	(会計	01−∮	股会計	(款)06農林業	費(項)01農業	費(目)02	農業総務	費(大	事業)(07下水道	事業		25	i3
			コード			名和	尔			事業	業期間		会計-款-項	[-目-	-大事業-中	事業
基 _	施策			財政運	_				H2	9 年		R6 年度	01-06	-01-	-02-07-01	1
- 本情	本事	ŧ	1	持続可	能な財	政運営			+0.1/		部•	課名 等			任者·連絡	
-12 E	事務署	事業	美名	農業集	落排水	事業			担当部署	財務	部財政	課			田中 広E 5-22-9608	
	対	\$	R	農業集	落排水	事業										
	目	Ħ	İ	農業集	落排水	処理施設の経営	'健全化を図る。									
:	根拠》	去~	令等	総務省	通知「均	也方公営企業繰出	出金について」									
事務事業の概	内	茗	7	接的経【農業外、	費につ 集落排7 道事業り 集落排7	計農業集落排水いては使用料で ド事業補助】 責の償還に要する 人件費に要する総 ド事業負担金】 長落家庭生活雑打	賄うこととし、一月 る経費(元金・利 経費	般会計から 息)	っ次のとおり	り補助し			ため、施設	維持的	管理に要す	る直 ·
概						経費	1 全	額				摘要	<u> </u>			
艾	主な	に要した な経費 など		負担	过金、 補	助及び交付金	679,4	128,911円	農業集落農業集落		-	助				
						計	680,5	503,524円								
	J		IJ	目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度	E決算 R4	上年度当			記入欄(積算基			
	直		玉	県支出	金	0	(o o	0		0		通知に基づく			
	接			地方債	Ī	0	(0	0		0	のとされて	は、地方交付税 います。	寺に	おいて考慮す	するも
	事			その他	ļ	0	(0	0		0					
全	業費			一般財	源	680,283	681,789	9	680,504	6	80,684					
体	貝		î	合計(A))	680,283	681,789	9	680,504	6	80,684					
全体コス	事	T	正規	融品	業務量	0.00 人	0.00 人	. 0.	00 人	0.0	00 人					
F 3	事	L	止炕	404.只	人件費	0		0	0		0					
(千 円			再任月	日舗目	業務量	0.00 人	0.00 人	0.	00 人	0.0	00 人					
H	件	<u> </u>			人件費	0		0	0		0					
$\overline{}$	費		会計年		業務量	0.00 人	0.00 人		00 人	0.0	00 人					
		L	用單		人件費	0		0	0		0					
				N計(B		0	`	0	0		0					
				(A+B)		680,283	681,789		680,504	6	80,684					
	市民1	人	当たり	のコスト	(円)	7,511	7,639	9	7,624		7,754					
		扌	旨標名			指標の説明	単位	立	令和3年	丰度	令和	4年度	令和5年	度	令和6年	F度
_ 指								目標								
- II	-				-									\rightarrow		$\overline{}$
標								実績								
	指標化	こで	きない	成果	成果を求	対める事業ではない	۱ _°	達成								
方向	_	-	記是													

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(月)03農業振興費(大事業)01農業振興経費

決算書頁 253

			/01 股去的(款/00度你未負(項/01度未負(日/00度	木派兴	貝(ハザ木)	い反不派		Į.
		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	3-2	農業	H16	年度~	R6 年度	0	1-06-01-03-01-01
本	基本事業	3	担い手の確保・育成	担当	部・課名 等			評価責任者·連絡先
報	事務事業名		名 農業振興事務経費		産業振興部	R農林振興	課	課長 堀 久仁寿
	7.10.4	ж п	及べいなべて子りが正文	部署	/王术派八日	11 JA 7 1 1 JA 7 1	C HAIN	0595-22-9712

報	事務事業名	農業振興事務経費		部署	産業振興部農林振興課	課長 堀 久仁寿 0595-22-9712
	対 象	農林政策に係る関係機関				
	目的	関係機関との連携や情報収集・提供	共によって、円滑な事業	推進を図る	5	
	根拠法令等	産業振興部関係補助金等交付要網	1			
事務事業の概要	内 容	各関係機関・団体の活動を助成する	ることにより、持続的な糸	目織の育成	を図り、特色ある地域農林業	の確立に努めました。
概要		経費	金額		摘要	
_		使用料及び賃借料	· ·		同農機具保管庫用敷地賃貸債	
		負担金、補助及び交付金			さと農業振興協議会負担金	
					改良普及事業協議会負担	金
	事業に要した				振興協議会負担金	n A
	主な経費		· ·		地域営農対策協議会経費分担	
	など		,		買(青空市推進協議会)支援事業補原 振興連盟会費 40,000円	圳並
			40,000[]	-	版與建盟安員 40,000円 E重県支部会費 5,000円	
		計	838,500円	177 —	- 王小人即召兵 (,,,,,,,)	

						•	*		
			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出	0	0	0	0	
		接	地方侵	į	11,600	0	0	0	
		事	その他	Ā	1,384	0	0	0	
全体	事業費	業費	一般財源		2,070	1,007	839	1,002	
体コ		貝	合計(A)	15,054	1,007	839	1,002	
ス			正規職員	業務量	0.04 人	0.16 人	0.16 人	0.16 人	
7			正况鸭貝	人件費	313	1,243	1,243	1,238	
1	費	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
H		件		人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	313	1,243	1,243	1,238	
		合計(A+B)			15,367	2,250	2,082	2,240	
	市民1人当たりのコスト(円)				170	26	24	26	

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	記定農業者協議会の研	認定農業者協議会の会議や 研修会等の回数を成果指標と		目標	7	8	9	10
į	修会等の開催回数 票	ずる。	豇	実績	5			
	指標化できない成果			達成	50%			

継続

各団体が掲げている課題や目標を再認識する必要があります。

交付や助成を行う各関係団体の役割を明確にし、それぞれの団体の運営管理の認識を強化します。 改また、引続き研修会等を開催して、各関係団体の育成を図ります。 善

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(月)03農業振興費(大事業)01農業振興経費

決算書頁 253

			/01	未派兴县	1(八字末/	Ⅵ辰禾狐	【一种	Į	
		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業	
基	施策	3-2	農業	H16	年度~	R6 年度	0	1-06-01-03-01-02	
本	基本事業	1	農畜産物の生産振興		部	・課名 等		評価責任者·連絡先	
報	事務事	業名	耕作放棄地再生利活用対策事業	担当 部署	産業振興部農林振興課			課長 堀 久仁寿	
								0595-22-9712	

報	事務事業名	耕作放棄地再生利活用対策事業		部署	産業振興部農林振興課	課長 堀 久仁寿 0595-22-9712							
	対 象	市内に所在する耕作放棄地(農業抵	長興地域内農用地に限	る)の解消・	する事業主		Ī						
	目的	耕作放棄地面積の減少および作物収量の向上 尹賀市耕作放棄地再生事業補助金交付要綱											
	根拠法令等												
事務事業の概	内 容	耕作放棄地再生活動を計画する事業体に対し、10aあたりの単価を設定し交付金の補助を行いました。 補助金の単価として、 ・耕作放棄地を解消し、菜種の作付けが見込まれる農地・・・10aあたり50,000円 ・耕作放棄地を解消し、有機農業による作物の作付けが見込まれる農地・・・10aあたり50,000円 ・上記以外で耕作放棄地を再生する農地・・・10aあたり30,000円の3タイプを挙げています。 令和3年度では、中柘植地区の1経営体が事業を実施し、菜種を作付けることを目的として3,387㎡の耕作放棄地を再生した。											
戦 要		経費	金額		摘要		1						
	事業に要した 主な経費 など	負担金、補助及び交付金	· ·		地再生事業補助金 也区:3,387㎡)								

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出	0	0	0	0	
		接	地方債	į	0	0	0	0	
		接事	その化	<u>p</u>	0	0	0	0	
全体	事業費	業費	一般財	源	115	170	169	170	
体コ		貝	合計(A)	115	170	169	170	
ス			正規職員	業務量	0.02 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
7			正况喊貝	人件費	157	777	777	774	
1	費	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
円		件		人件費	0	0	0	0	
<u> </u>		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	157	777	777	774	
		合計(A+B)			272	947	946	944	
	市民1人当たりのコスト(円)				4	11	11	11	

169,000円

計

指標名 指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
精作放棄地の活用のため、I 交付面積 ・ 農地面積 組、農地として活用可能とな		目標	4	4	10	15
要	S TUA	実績	3.3			
指標化できない成果		達成	82.5%			

方 継続 農業委員や農地利用最適化推進委員に啓発したこともあり、当該事業の相談が増加しましたが、予算不足となり、事業を 活用していただけない経営体もありました。

確保した予算を有効活用していくためには、引き続き事業の啓発は必要ですが、事業活用可能な耕作放棄を絞っていくこ 改とも必要であると考えられます。また、移住希望者も増加していることから、移住担当者との連携強化も図っていきます。 <u>整理番号</u> (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)02農業振興地域整備計画 促進事業

決算書頁 253

	/	コード	名称			事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	3-2	農業	H	- 116	年度~	R6 年度	0	1-06-01-03-02-01
本情	基本事業	1	農畜産物の生産振興			部•	課名 等		評価責任者·連絡先
報	事務事	業名	農業振興地域整備計画促進事業	担当部署	_	産業振興部	["] 農林振興	課	課長 堀 久仁寿 0595-22-9712

						0595-22-9712							
	対 象	農業振興地域											
	目 的 農業振興地域内の農地転用の制限により、優良農地の減少を抑制する 根拠法令等 農業振興地域の整備に関する法律、農地法、伊賀市農業委振興地域整備促進協議会条例、伊賀市農業振興地域												
事務事業の概要	内 容	農業振興地域整備計画の変更について、「農業振興地域の整備に関する法律」及び「農地法」に基づき、適正な管理を行ました。 「一般管理】 年2回募集を行い、農用地利用計画の変更(編入、除外)手続き等を行いました。 ・第1回(8月15日~9月30日まで) 編入 1件 33,562㎡ 除外 1件 5,271㎡ ・第2回(2月15日~3月31日まで) 編入 4件 1,146.7㎡ 除外 3件 11,605㎡ 【軽微変更】 随時募集しており、農用地利用計画の変更(1ha未満の用途変更)手続き等を行いました。 用途変更 1件 994㎡											
概要			金額		摘要								
	事業に要した 主な経費 など	報酬 旅費	, , ,		也域整備促進協議会委員報								

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0	0	0	
		接	地方債	責	0	0	0	0	
		事	その化	<u>t</u>	0	8	0	38	
全体		業費	一般財	源	91	118	109	88	
体コ		貝	合計(A	.)	91	126	109	126	
ス	事		正規職員	業務量	0.40 人	0.44 人	0.44 人	0.44 人	
۲	事業費			人件費	3,125	3,417	3,417	3,405	
Ŧ	費	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
H		件	竹口巾帼貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B	3)	3,125	3,417	3,417	3,405	
			合計(A+B))	3,216	3,543	3,526	3,531	
	市民1人当たりのコスト(円)				36	40	40	41	

109,098円

計

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	農用地面積	減少傾向にある農用地面積を	ha	目標	6255	6253	6251	6249
標	辰	抑制する	Πά	実績	6255			
	指標化できない成果			達成	100%			

方 継続 農業者の後継者不足等により耕作されない農地がさらに増えることが懸念されます。

引続き、優良農地の確保及び転用の制限に努め、法律に基づき適切に事務を進める必要があります。また、中山間地域 等直接支払交付金事業や多面的機能支払交付金事業の担当者と連携を図りながら事業の啓発に努めます。 整理番号
268 - (A-51) c4 - 如 A-51 (th) co 曲 社 ** # (T-75) c4 曲 ** ― (T-75) c4 ー (T-75

決算書頁 255

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)03地域農政推進対策事業 名称 事業期間 会計-款-項-目-大事業-中事業 コード 施策 農業 H16 年度~ R6 年度 01-06-01-03-03-01 3-2 基本事業 3 担い手の確保・育成 部・課名 等 評価責任者·連絡先

報	事務事業名	農業経営基盤強化促進事業		担当部署	産業振興部農林振興課	課長 堀 久仁寿 0595-22-9712								
	対 象	農業者の経営改善の推進												
	目的	農業経営改善計画の審査を行い担	農業経営改善計画の審査を行い担い手を育成する											
	根拠法令等	農業経営基盤強化促進法、伊賀市農業経営基盤強化促進協議会条例、農業委経基盤の強化の促進に関する基本的な構 ^摂												
事務事業の概要	内容	農業者から申請された農業経営改 て審査を行い、認定します。 農業経営改善計画は新規12件、												
概要		経費	金額		摘要									
		報酬	204,000円	農業経営	基盤強化促進協議会委員	段酬 204,000円								
	事業に要した 主な経費 など	旅費	26,603円	農業経営	基盤強化促進協議会委員 加	依費 26,603円								

						-	·		
			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出	0	0	0	0	
		接	地方侵	į	0	0	0	0	
		事	その他	<u>p</u>	0	0	0	0	
全体		業費	一般財	源	228	304	231	298	
体コ		貝	合計(A)	228	304	231	298	
ス	事		正規職員	業務量	0.25 人	0.43 人	0.43 人	0.43 人	
7	事業費		正	人件費	1,953	3,339	3,339	3,327	
1 1	費	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
円		件	竹口巾帆貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	1,953	3,339	3,339	3,327	
			合計(A+B))	2,181	3,643	3,570	3,625	
	市民1人当たりのコスト(円)			25	41	40	42		

230,603円

計

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	認定農業者数	農業経営基盤強化の促進に 関する基本的な構想に合致す		目標	230	233	236	240
標	応 足辰未 日 奴	高男の基本的な構造に 古	\	実績	214			
	指標化できない成果			達成	93%			

方 継続 農業者の高齢化・後継者や担い手不足・採算性の悪化等により、競争力のある産業として維持していくのが困難になってきています。

安全・安心な食料の安定供給をはじめ、多様な価値を提供する農業・農村の役割を鑑み、健全かつ持続的な展開を図る ためには、担い手の育成とフォローアップに努めていく必要があります。

315

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)03地域農政推進対策事業

決算書頁 255

名称 事業期間 会計-款-項-目-大事業-中事業 コード 年度~ R6 年度 施策 3-2 農業 H16 01-06-01-03-03-02 基本事業 2 農業・農村の多面的機能維持向上 部・課名 等 評価責任者·連絡先

事務事業名	人・農地プラン作成事業		担当部署	産業振興部農林振興課	課長 堀 久仁寿 0595-22-9712	l						
対 象	集落、地域、農業者	、地域、農業者										
目的	持続可能な農業を実現するため、地	也域の中心となる経営体	本を確保し、	農地集積を進める								
根拠法令等	人農地問題解決加速化支援事業実	E施要綱(~R2)、経営網	継承・発展等	等支援事業実施要綱(R3)								
内 容	ン」の作成等、必要な支援を行いま 説明会については、新型コロナウ A伊賀ふるさとと連携しながら随時と 令和3年度においては、新規で22	集落、地域での話し合いにより、地域の中心となる経営体への農地集積など、地域農業のあり方を記載した「人・農地プライ」の作成等、必要な支援を行いました。 説明会については、新型コロナウィルス感染拡大を考慮し、開催はできませんでしたが、要請のあった地区には三重県、J伊賀ふるさとと連携しながら随時出向いて意見交換等を行いました。 令和3年度においては、新規で2プランの作成があり、既設プランについては6プランの見直しをおこないました。また、プランの新規作成や更新に伴い、プランに位置付けられた経営体の延数が240となりました。										
	経費	金額		摘要								
	報酬 138,000円 委員報酬											
事業に要した 主な経費 など												

		計				17	/4,680円		
			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	430	430	0	300	経営継承・発展等支援事業交付金 174,680円
		接	地方信	ŧ	0	0	0	0	
		接事	その他	<u>h</u>	0	0	175	0	
全体		業費	一般財	源	0	0	0	0	
体コ		貝	合計(A)	430	430	175	300	
コス	事		正規職員	業務量	0.50 人	0.63 人	0.63 人	0.63 人	
7	事業費		正况哪貝	人件費	3,906	4,892	4,892	4,875	
Ŧ	費	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
円		件	中口用赖只	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	3,906	4,892	4,892	4,875	
			合計(A+B)	4,336	5,322	5,067	5,175	
	市民1人当たりのコスト(円)			ト(円)	48	60	57	59	

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ŧ	中心となる経営体の数	「人・農地プラン」に位置づけ	体	目標	240	243	246	250
林	中心となる柱呂体の数	られた経営体数(延数)	44	実績	240			
	指標化できない成果			達成	100%			

方 継続 農業者の高齢化や後継者不足が深刻な課題となっています。

地域の中心となる経営体への農地の集積や就農移住を含めた新規就農者の確保のため、継続する必要があります。 人・農地プランの策定地区の増加のため、県、JAと連携を図りながら積極的に地域へ出向き、意見交換の場を設けます。

 整理番号
 決算書頁

 270 (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)03地域農政推進対策事業

 基施策
 3-2
 農業
 H16
 年度~ R6 年度
 01-06-01-03-03-03

 基本事業
 ③ 担い手の確保・育成
 部・課名等
 評価責任者・連絡先

 事務事業名
 新規就農者総合支援事業
 担当
 産業振興部農林振興課
 課長 堀 久仁寿

 0595-22-9712

坐 本事未				마짜기퓻	可顺负压省 医帕儿				
事務事業名	新規就農者総合支援事業		担当部署	産業振興部農林振興課	課長 堀 久仁寿 0595-22-9712				
対 象	独立・自営就農時の年齢が原則49歳	歳以下で、青年等就農	計画の認定	を受けている新規就農者					
目的	新規就農者に資金を交付することで	、就農意欲の喚起と就	t農後の定	着を図る					
根拠法令等	新規就農者育成総合対策実要綱、化	伊賀市農業次世代人	才投資事業	実施要綱					
内 容	年交付します。 令和3年度は合計5名(内夫婦2名	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後(5年以内)の所得を確保する資金を最長5 交付します。 令和3年度は合計5名(内夫婦2名)に資金の交付(計5,763,800円)を行いました。 また、3年目の資金交付前に交付継続を判定する中間評価会を5名に対して実施し、5名が交付継続となりました。							
	経費	金額		摘要					
事業に要した	報償費 旅費 負担金、補助及び交付金	1,924円	中間評価:	会 委員謝礼 会 委員旅費 代人材投資資金	18,000円 1,924円 5,763,800円				

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	6,929	8,272	5,784	8,864	新規就農者総合支援事業費補助金
		接	地方信	į	0	0	0	0	5,783,484円
		接事	その他	F	0	0	0	0	
全体		業費	一般財源		0	0	0	0	
体コ		貝	合計(A)	6,929	8,272	5,784	8,864	
ス	事		正担職員	業務量	0.70 人	0.70 人	0.70 人	0.70 人	
7	事業費		正規職員	人件費	5,468	5,435	5,435	5,416	
Ŧ	賀	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
Ė		件	行止用帳貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	5,468	5,435	5,435	5,416	
			合計(A+B)		12,397	13,707	11,219	14,280	
	市民1人当たりのコスト(円)				137	154	126	163	

5,783,724円

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	農業次世代人材投資資	農業次世代人材投資資金を	人	目標	6	6	6	6
標	金交付者数	交付した人数		実績	5			
	指標化できない成果			達成	83%			

方 継続

主な経費など

交付要件が多く国の予算の都合もあり、採択となる基準が年々高くなる傾向にあります。

新規就農者が安定した営農をできるように、相談があった際は伊賀農林事務所、JAと連携して採択となるよう進めます。

課題

【(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)03地域農政推進対策事業

決算書頁 255

		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	3-2	農業	H16	年度~	R6 年度	0	1-06-01-03-03-04
本情	基本事業	2	農業・農村の多面的機能維持向上		部	• 課名 等		評価責任者·連絡先
報	事務事	業名	農地集積協力金交付事業	担当部署	産業振興部	『農林振興	!課	課長 堀 久仁寿 0595-22-9712

事務事業名		農地集積協力金交付事業		部署	産業振興部農林振興課	0595-22-9712					
対 象		集落、地域、農業者									
目的		地域の中心経営体への農地集積や	分散錯圃の解消を目的	内に、農地の	中間管理事業を促進する						
根拠法令等											
内容		担い手への農地集積・集約化を加した。 【地域集積協力金】 人・農地プランに基づき農地中間で力金 (令和3年度実績:5地区 農地・ 【経営転換協力金】 人・農地プランに基づき機構へ自作する農業者などに交付する協力金 (令和3年度実績なし)	管理機構にまとまった 中間管理機構への貸付	農地を貸し付 ・面積∶約56	寸けた場合、集積割合に応じ ⁻ 3.21ha)	て地域に対し交付する協					
Ç.		経費	金額		摘要						
事業に要した 主な経費 など	1.1.	旅費 消耗品費 使用料及び賃借料 負担金、補助及び交付金	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	かラー複合機 作業服 PPC用紙 その他事 機械器具	務用 借上料	11,380円 357,289円 85,690円 163,790円 1,024,104円 46,200円 7,829,000円					

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出金	1,734	14,400	7,829	10,400	農用地利用集積特別対策事業費補助金
		接	地方債	į	0	0	0	0	7,829,000円 中間管理事業業務委託金 1,688,453円
		事	その化	<u>ի</u>	1,690	1,467	1,688	823	
全		業費	一般財源		0	0	0	0	
体コ		貝	合計(A)	3,424	15,867	9,517	11,223	
ス	事業費		正規職員	業務量	0.35 人	0.37 人	0.37 人	0.37 人	
7			正况职員	人件費	2,734	2,873	2,873	2,863	
+		人	五仟田職昌	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
H		件	再任用職員	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	
			用職員	人件費	1,907	1,596	1,596	1,617	
			小計(B)	4,641	4,469	4,469	4,480	
			合計(A+B))	8,065	20,336	13,986	15,703	
	市民1人当たりのコスト(円)				90	228	157	179	

9,517,453円

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	機構活用面積	農地中間管理機構を活用して	ha	目標	750	760	770	780
標	(成件)占用	いる合計面積	ha	実績	754			
	指標化できない成果			達成	101%			

継続

地域の中心となる経営体へ農地集積を進める必要があるが、農業者の高齢化や後継者不足が深刻な課題となっています。

三重県、JA伊賀ふるさとと連携を図りながら、引き続き「人・農地プラン」や「農地中間管理機構」活用の推進に努めます。 また、制度や機構集積協力金の概要の周知等も積極的に進めます。 <u>整理番号</u> (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)04農業経営基盤強化資金 等利子助成事業

決算書頁 255

		.,	1 23 134 T X					
		П 1,	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	3-2	農業	H16	年度~	R6 年度	0	1-06-01-03-04-01
本	基本事業	1	農畜産物の生産振興		部・課名 等			評価責任者·連絡先
報	事務事業名		農業経営基盤強化資金等利子助成事業	担当部署	産業振興部	R 農 林 振 嗣	理	課長 堀 久仁寿
	尹 仍尹:	未 口	辰木性 占 坐盖强 L. 貝 亚 寸 们 J 助 以	нье	庄未派兴	1)废怀派兴	***	0595-22-9712
					•			

報	事務事業名	農業経営基盤強化資金等利子助成	注事業	部署	産業振興部農林振興課	缺较 堀 久仁 <i>并</i> 0595-22-9712						
	対 象	認定農業者			•							
目 的 農業経営改善計画を実践し、経営規模の拡大及び経営の効率化を図る												
	根拠法令等	産業振興部関係補助金等交付要綱	8									
事務事業の概要	内 容	認定農業者が借り入れた農業制度資金の借入利子の一部を助成しました。 農業経営基盤強化資金利子助成 3件 206,674円 農業経営近代化資金利子助成 64件 745,991円										
要		経費	金額		摘要							
		負担金、補助及び交付金	952,665円	農業経営	基盤強化資金利子助成金	206,674円						
	事業に要した 主な経費 など			中核農業	者育成資金利子助成金	745,991円						
		計	952,665円									

						·	÷		-
			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		中	国県支出	金出	91	125	66	123	
		直接事	地方侵	į	0	0	0	0	65,828円
全:		事	その他	<u>p</u>	0	0	0	0	
	事業費	業費	一般財	源	915	1,067	887	1,004	
体コ		貝	合計(A))	1,006	1,192	953	1,127	
ス			正規職員	業務量	0.10 人	人 80.0	0.08 人	0.08 人	
7			正烷赖貝	人件費	782	622	622	619	
+	費	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
円		件	竹口巾帳貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	782	622	622	619	
			合計(A+B)		1,788	1,814	1,575	1,746	
	市民1人当たりのコスト(円)				20	21	18	20	

指標名	指標の説明	単位	/	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指 対象者適用比率	申請者に対して利子補給した	%	目標	100	100	100	100
標	率を対象とする	90	実績	100			
指標化できない成果			達成	100%			

方 継続 融資機関と農業者の都合で、融資条件が変更となる場合があります。

融資条件の変更により利子補給額に変動がある場合は、内容によっては認めないなど基準を定める必要があります。

牧善家

課題

整理番号 273 -

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)05鳥獣害防止事業

決算書頁 255

事業期間 会計-款-項-目-大事業-中事業 コード 施策 農業 H16 年度~ R6 年度 01-06-01-03-05-01 3-2 基本事業 3 担い手の確保・育成 部・課名 等 評価責任者·連絡先 担当 課長 堀 久仁寿 事務事業名 鳥獣害防止事業 部署 産業振興部農林振興課 0505-22-0712

					0595-22-9712					
	対 象	鳥獣害被害を被る農山村住民								
	目的	有害鳥獣の侵入を防ぎ被害の防除	、軽減による農業経営	の安定化、住環境の向上を図る						
	根拠法令等	伊賀市鳥獣害に負けない地域づくり	推進事業実施要領、	伊賀市獣害防止施設設置事業補助金交	:付要綱					
事務事業の概要	内 容	●伊賀市鳥獣害対策協議会として事業を実施する、ソフト・ハード事業に要する経費の一部を負担しました。 ○ソフト事業:21自治協 合計3,037,432円 ・普及啓発活動:1,846円 ・自治協で管理する捕獲檻、わなの購入:1,546,992円 ・狩猟免許取得9名への免許取得経費:143,768円 ・防止体制の整備:255,020円 ・追い払い資材:1,097,306円 ○ハード事業:13自治協(24地区) 合計3,406,562円(事業費3,891,468円 - 地域からの地元負担金484,906円) ○ニホンザル頭数調査費:375,000円(事業費500,000円 - 鳥獣被害防止総合対策交付金125,000円) ○捕獲実証実験用資材:196,680円 ○事務費181,317円 ●獣害防止施設事業補助金:368,200円 農山村の鳥獣害を防止するため、市内の農地所有者に対し、電気柵等の共同防止設備設置に必要な購入資材の資材費の20%を補助し、4件の申請者に支出しました。								
似更		経費	金額	摘要						
^		伊賀市鳥獣害対策協議会事業負担金	7,196,991円		3,037,432円					
				ハード事業	3,406,562円					
				ニホンザル頭数調査費	375,000円					
	事業に要した			捕獲実証実験用資材	196,680円					
	主な経費			事務費	181,317円					
	など	獣害防止施設設置事業補助金	368,200円	補助件数 4件	368,200円					
		計	7,565,191円							

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出金	0	250	0	0	
		接	地方侵	į	0	0	0	0	
		事	その他	þ	0	0	0	0	
全		業費	一般財源		9,450	8,980	7,565	8,647	
体コ		貝	合計(A)	9,450	9,230	7,565	8,647	
ス	事業費		正規職員	業務量	1.05 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	
7			止炕帜只	人件費	8,202	7,764	7,764	7,737	
(1		人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
H		件		人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	8,202	7,764	7,764	7,737	
			合計(A+B))	17,652	16,994	15,329	16,384	
	市民1人当たりのコスト(円)				195	191	172	187	

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指		侵入防止柵の耐用年数を把 握し、更新・修繕が必要な地	%	目標	24	25	19	26
標	施する地区数	区のハード事業申請数	70	実績	24			
	指標化できない成果			達成	100%			

方

継続

獣害防止施設の交付要件は原則2戸以上の農家による共同設置を対象としているが、農家戸数の減少で申請不可となり、鳥獣被害防止活動が出来ずに農地を放棄する悪循環の可能性が高くなってきています。

獣害防止施設設置事業補助金要綱の改正により、共同設置が困難な農地の獣害防止施設費用への補助を可能とします。 す。 また、市ホームページ等を活用し、、改正内容の周知に努めます。

改善家

計

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)06伊賀米等生産振興対策

		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	3-2	農業	H16	年度~	R6 年度	0	1-06-01-03-06-01
本	基本事業	1	農畜産物の生産振興		部・課名 等			評価責任者·連絡先
報	事務事	業名	伊賀米生産振興経費	担当 部署	産業振興部	『農林振興	課	課長 堀 久仁寿
					注 来派共即展刊派共称			0595-22-9712

尹仍尹未仁	ア貝 木工座 派央社員		HIFT	性未派共印度 你派共称	0595-22-9712						
対 象	伊賀米生産農業者、関係事業者及	び地域の消費者、経営	所得安定対	対策対象農業者							
目 的	伊賀米の生産基盤保持や安全安心	な体制構築、経営所得	安定対策	等や伊賀米普及事業を推進す	する						
根拠法令等	圣営所得安定対策等推進事業実施要綱、伊賀米振興協議会規約 留作栽培の技術向上及び米の品質向上を図り、「伊賀米」ブランドの普及、販売拡大に努めました。										
内 容	稲作栽培の技術向上及び米の品質また、国の対策である経営所得安定 伊賀市農業再生協議会業務委託料 委託先:伊賀市農業再生協議会 主な業務:経営所得安定対策の拍 営農計画書の配布件数 麦大豆生産性向上補助金 市内の申請者3団体に機械導入費 行いました。	≧対策の実施に必要な打 ↓ 能進及び関係事務 対は約7,000件です。	推進活動 及	び事務を実施しました。							
	経費	金額		摘要							
事業に要した 主な経費 など	委託料 需用費 負担金、補助及び交付金	1,510円 ½ 20,897円 ½ 2,485,000円 {	肖耗品 然料費 尹賀米振!	業再生協議会業務委託料 興協議会負担金 豆生産総合対策事業費補即							

						-	·		
			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出	16,032	14,169	24,581	12,476	経営所得安定対策等推進事業費補助金
		接	地方侵	į	0	0	0	0	14,397,000円 (会計年度任用職員分含む)
		事	その他	<u>p</u>	0	0	0	0	米·麦·大豆生産総合対策事業費補助金
全体		業費	一般財	源	622	2,485	2,486	2,485	12,113,520円
体コ		貝	合計(A)	16,654	16,654	27,067	14,961	
コス	事		正規職員	業務量	1.40 人	1.19 人	1.19 人	1.69 人	
۲	事業費			人件費	10,936	9,240	9,240	13,076	
Î	賀	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
H		件	竹口巾帆貝	人件費	0	0	0	0	
<u> </u>		費	会計年度任	業務量	0.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	
			用職員	人件費	0	1,596	1,596	1,617	
			小計(B)	10,936	10,836	10,836	14,693	
			合計(A+B))	27,590	27,490	37,903	29,654	
	市民1人当たりのコスト(円)			ト(円)	305	308	425	338	

27,066,927円

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	伊賀米の一等比率	農産物検査における一等米	%	目標	票 70% 70%		70%	70%
標	ア貝木の一寺 山平	の比率	90	実績	74%			
	指標化できない成果			達成	105.7%			

方 継続 向

伊賀米の一等米比率は、天候に左右されやすいため安定した品質の確保が課題となっています。 協議会の運営については、伊賀市の意見や要望等が反映されるようにする必要があります。

伊賀米の安定した出荷量が確保できるよう協議会の運営を行う必要があります。

品質の向上に向けた、データの収集を行います。 改 伊賀米の認知度は、全国的に見てもまだ低く今後、さらなるPRを行っていきます。 善 伊賀米のさらなるブランド価値の向上を目指し、その方法について栓をサーナナ

 整理番号
 (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)07中山間地域等直接支払

 275 なける事業

法算書頁 255

		スロン	<u></u>					
		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	3-2	農業		H16 年度~	R6 年度	0.	1-06-01-03-07-01
本	本 本 中 本 (C)		農業・農村の多面的機能維持向上		H H	・課名 等		評価責任者·連絡先
報			中山間地域等直接支払交付金事業	担当部署	-	7. 農林振興	理	課長 堀 久仁寿
	777	· 未 1	平田间地域寺直接关拓关门亚 事来	нг	2	産業振興部農林振興課		0595-22-9712
	対	象	集落協定締結集落及び集落協定参加者					
		,,		. —			:	

目 的 農業生産条件の不利な中山間地域等において集落等を単位に農用地を維持・管理し、農地の有する多面的機能を発揮する取組を行う 根拠法令等 農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律、産業振興部関係補助金等交付要綱 中山間地域等直接支払交付金第5期対策の集落協定作成の指導を行いました。 集落協定締結集落に対して、中山間地域等直接支払交付金を交付しました。 また、新規取組集落の相談を実施し事業を推進しました。

交付金額(体制整備単価)

水田急傾斜: 21,000円/10a、水田緩傾斜: 8,000円/10a、畑急傾斜: 11,500円/10a、畑緩傾斜3,500円/10a 集落協定地区

65集落(令和2年度実績)、70集落(令和3年度実績) 取組面積 883ha 交付金合計 119,423,406円

事業に要した 主な経費 など

内容

事務事業の概要

 経費
 金額
 摘要

 負担金、補助及び交付金 消耗品費 電算機借上料
 119,423,406円 33,520円 480,480円
 中山間地域等直接支払交付金 中山間地域等直接支払制度支援システム

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
	Ì	直	国県支出	出金	78,566	84,857	85,169	91,210	中山間地域等直接支払交付金
		接	地方侵	Ę	0	0	0	0	84,654,969円 中山間地域等直接支払推進事業費補助金
全::		接事	その他	<u>p</u>	0	0	0		514,000円
		業費	一般財源		33,589	35,967	34,768	37,727	
体			合計(A)	112,155	120,824	119,937	128,937	
コス	事業費		正規職員	業務量	2.00 人	1.18 人	1.18 人	1.68 人	
7			正况啾貝	人件費	15,622	9,162	9,162	12,999	
1	賀	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
占		件	行江川城兵	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	15,622	9,162	9,162	12,999	
			合計(A+B))	127,777	129,986	129,099	141,936	
市民1人当たりのコスト(円) 1,411				1,457	1,447	1,617			

指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指 集落協定の活動ができる	集落協定内容を遵守し活動が	件	目標	70	72	72	72
組織	できる組織の数	1+	実績	70			
指標化できない成果			達成	100%			

方 継続 向 令和2年度から令和6年度までの第5期対策において、65集落協定が作成されました。令和3年度に新たに5集落が作成されましたが、高齢化や後継者不足により協定の活動を維持することは容易ではありません。集落内の話し合い等により活動を継続できるよう支援していきます。

現地確認や実績報告ヒアリング時に集落協定代表者から現状と課題の聞き取りをし、先進的な取り組みを行う集落の事 例を紹介したり、集落代表者の事務負担が軽減されるような支援を取り組んでいきます。

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(月)03農業振興費(大事業)08農業公園管理経費

決算書頁 255

			/01 胶云目(秋/00炭件未具(5/01炭未具(日/00炭	不派兴,	マハナイ	の反木工		生性 貝	
		コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
基	施策	3-2	農業	H16	年度~ R6 年度		0	01-06-01-03-08-01	
本	基本事業	1	農畜産物の生産振興	担当	部・課名 等			評価責任者·連絡先	
報	事務事業名				産業振興音	『農林振興	!課	課長 堀 久仁寿 0595-22-9712	

報	事務事業名	農業公園管理経費		部署	産業振興部農林振興課	0595-22-9712						
	対 象	市民ふれあい農園利用者及び伊賀	民ふれあい農園利用者及び伊賀市農業公園利用者									
	目 的	民ふれあい農園の利用者を増加させ、農業振興施策に繋げる 賀市農業公園の設置及び管理に関する条例、伊賀市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例										
	根拠法令等											
事務事業の概要	内容	市民の憩い、交流、農業体験を促進 ・市民ふれあい農園契約区画数 ・イベント 秋の収穫祭(どろんご 保育園芋ほり体験 ブルーベリー収穫体験	99区画 (総区画数:2 芋掘り) 参加者: 参加者:	246区画) 138人 7人	(り、地域の活性化を図りました	t - ∘						
概要		経費	金額		摘要							
~	事業に要した主な経費	委託料 使用料及び賃借料 需用費	713,965円 <u>-</u> 110,000円 {	指定管理 土地建物 修繕料	者:明日が楽しみな里づくり委員	会						
	エなだ	負担金、補助及び交付金	4,950円)		水供給事業負担金							

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		古	国県支出	金	0	0	0	0	行政財産使用許可
		直接	地方債	Ę	0	0	0	0	(自動販売機設置にかかる使用料) 32,000円
		接事	その他	<u>þ</u>	31	32	32	32	,
全		業費	一般財	源	5,975	6,039	5,968	6,146	
体コ		貝	合計(A)	6,006	6,071	6,000	6,178	
ス	事		正規職員	業務量	0.20 人	0.05 人	0.05 人	0.05 人	
7	· 業 費		工况极负	人件費	1,563	389	389	387	
+	賀	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
À		件	竹口加帆貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	1,563	389	389	387	
	合計(A+B))	7,569	6,460	6,389	6,565		
	市民1人当たりのコスト(円)				84	73	72	75	

5,999,684円

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	市民ふれあい農園利用	市民ふれあい農園の貸付利	区画	目標	120	120 130		150
標	区画数	用区画数		実績	99			
	指標化できない成果			達成	82.5%			

方

継続

平成29年度に利用者が激減しましたが、食の安全や環境問題について考える方や、蜜を回避できるレジャーとして社会的に認知されてきており、現在は、回復傾向にあります。 ホームページ等を活用できていない部分が多いため、認知度としては、低くなっています。 まいまましたよる利用率の減少がみられるため、広報誌、広告、ケーブルテレビ、SNSなどを活用し、広く知ってもらう必要が

あります。

定期的なホームページの更新、ブルーベリー収穫などのイベント情報をSNSを活用した発信など若い世代をターゲットとし たデジタルマーケティングの取組みを行います。

<u>整理番号</u>
(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)09農村環境改善センター維持管理経費

事業期間

H16 年度~ R6 年度

名称

コード

7-2 財政運営

使用料及び賃借料

計

施策

ンター維 決算書頁 257

463,598円

会計-款-項-目-大事業-中事業

01-06-01-03-09-01

本	基本事業 ②	公有財産の有効活用		1=	部・課名 等	評価責任者·連絡先			
報	事務事業名	農村環境改善センター維持管理経		担当部署	大山田支所振興課	課長 井上 忠生 0595-47-1150			
						1 0000 11 1100			
	対象	農村環境改善センターの利用者							
	目的	改善センターの維持管理業務を行い	、、市民各種団体による	各種会議	・各種講座に利用できる。				
	根拠法令等	大山田農村環境改善センターの設施	置及び管理に関する条件	例・大山田	農村環境改善センター管理	規則			
事務事業の概要		保守点検や検査を継続して実施し、 夜間・休日の利用については、会計							
概要		経費	金額		摘要				
		需用費	613,299円			30,997円			
				然料費		267,812円			
			l ·	光熱水費		125,290円			
	事業に要した	40. 747 #P		多繕費 エ ## ##		189,200円			
	主な経費	役務費 ままな	112,200円			400 000 TTI			
	など	委託料	2,146,598円			429,000円			
				設備保守点検 1,254,000円					

			-			*	Ţ.		
			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0	0	0	大山田農村環境改善センター使用料 46,035円
		接	地方侵	į	0	0	0	0	
		事	その他	p	16	150	46	150	
全体		業費	一般財	源	3,556	3,550	3,526	4,642	
体コ		貝	合計(A)	3,572	3,700	3,572	4,792	
ス	事		正規職員	業務量	0.25 人	0.16 人	0.16 人	0.16 人	
۲	事業費			人件費	1,953	1,243	1,243	1,238	
1	費	人		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
円		件	竹口巾帆貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	1,953	1,243	1,243	1,238	
			合計(A+B))	5,525	4,943	4,815	6,030	
	市民1人当たりのコスト(円)				62	56	54	69	

3,571,097円

清掃

699,000円 土地建物借上料・機械器具借上料

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	利用者数	大山田農村環境改善センター		目標	10,000	10,000	10,000	10,000
標	利用有奴	の利用者数	^	実績	3,030			
	指標化できない成果			達成	30.3%			

方 改善 施設及び設備の老朽化により、随時修繕が必要な状況です。新型コロナウイルス感染の影響により、利用者数は昨年度 に比べ微増だが低調なため、利用者増に取り組む必要があります。

限られた予算のため、優先順位を付け修繕を実施してきました。また、感染対策を取りつつ、施設利用の周知など利用者増に取り組みます。

整理番号
278 -(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)10地域バイオマス利活用
推進事業

事業期間

H16 年度~ R6 年度

名称

決算書頁 257

会計-款-項-目-大事業-中事業

01-06-01-03-10-01

基本	事業	1	農畜産物の生産振興		15.11	部・課名 等	評価責任者·連絡先						
C.	務事	業名	循環型農業実現モデル推進事業		担当部署	産業振興部農林振興課	課長 堀 久仁寿						
							0595-22-9712						
	対(象	菜の花プロジェクトに取り組む市民・	団体(菜の花プロジェク	7ト推進協詞	養会を含む)、農村景観、地域	域経済						
	目自	内	菜の花プロジェクトを推進し、遊休農	地での菜の花栽培や	持産品販売	拡大を通じて地域活性化を	図る						
根	拠法	令等	伊賀市バイオマスタウン構想、伊賀市菜の花プロジェクト推進協議会規約										
			遊休農地を利用して菜の花等資源作物を栽培することで、農村地域の景観形成を図りながら循環型農業を目指す「菜の花プロジェクト」を推進しました。										
			また、菜の花プロジェクト推進協議会を通じて、菜の花を核とした活動により農村地域だけに限らず市街地も含めた地域活生化を図りました。										
			循環型農業を通じ、地域の活性化及び遊休農地の解消等の解決を図りました。										
	内 和	容	令和3年度の種子配布の人数は、59人です。										
ŧ													
天 돈			経費	金額		摘要							
			委託料	801 981円 4	⊕智市並 <i>(</i>)花プロジェクト推進業務委	手 料						
			消耗品費	479,730円			1011						
事	業に要	見た											
	主な経	費											
	など												

						.	•		-
			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0	0	0	令和4年度予算
		接	地方侵	責	0	0	0	0	ふるさと応援基金 1,579,000円
		事	その他	<u>t</u>	0	0	0	1,579	
全体		業費	一般財	源	1,375	1,579	1,282	0	
体コ		貝	合計(A)	1,375	1,579	1,282	1,579	
コス	事		正規職員	業務量	0.10 人	0.27 人	0.27 人	0.27 人	
۲	事業費		正况啾貝	人件費	782	2,097	2,097	2,089	
1 1	費	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
円		件	中口用赖貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	782	2,097	2,097	2,089	
		合計(A+B) 2,157				3,676	3,379	3,668	
	市民1人当たりのコスト(円)				24	42	38	42	

1,281,711円

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	菜種の生産数量	市内で収穫・出荷された菜種	lea-	目標	21000	22000	23000	24000
標	米性の土圧奴里	の数量	kg	実績	14019			
	指標化できない成果			達成	66.7%			

方 継続

コード

3-2 農業

施策

水田を活用した搾油用菜種の栽培は収量が伸び悩んでいます。

排水対策、雑草対策、連作などの原因が考えられます。

計

収量向上のため菜の花プロジェクトを通じ、栽培者に助言を行うほか、新規栽培を検討する農家や組織に向けた栽培講 習会を開催します。

決算書頁

257

2/	9 –	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農	業振興	費(大事業)	11特產農	<u></u> 建定物	等振興事業	25/
		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事	業−中事業
基	施策	3-2	農業	H.	6 年度~	R6 年度	0	1-06-01-03-	11-01
本	基本事業	1	農畜産物の生産振興	担当	部	• 課名 等		評価責任者	•連絡先
情報	事務事				産業振興部	祁農林振興	課		久仁寿
								0595-22	-9/12

				0000 22 0712							
対 象	特定の農産物を栽培する生産組織及	び生産者。近隣及び	大都市圏の消費者。								
目 的	伊賀の特産食材の流通量の増加、生	†賀の特産食材の流通量の増加、生産意欲の向上、生産拡大を図る 									
根拠法令等											
特産農産物(搾油用菜種、アスパラガス)の生産、流通の構造改革を推進し、農産物の高付加価値化と栽培農家の経営向上を図りました。 アスパラ 5,560本分のアスパラの株について交付金を交付しました。 菜種 12件、12,895kgの搾油用菜種について交付金を交付しました。 新型コロナウイルス感染症の影響により販売不振となった伊賀産食材を、「いがスマイル給食」として小中学校給食に提供することにより、地産地消・食育推進を促しました。また、いがマイル給食を夏休みを除く月2回程度実施しました。 9施設 延べ150回 伊賀市食育推進計画策定会議の委員の報酬を支払いました。											
	経費	金額	摘要								
事業に要した 主な経費 など	負担金, 補助及び補助金 需用費 賄材料費 報酬 旅費	20,693,947円 174,000円	特産農産物等生産振興支援事業助成 いがスマイル給食材料費 食育推進計画策定委員報酬 食育推進計画策定委員交通費	艾金							

						-	·		
			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出	0	0	0	0	ふるさと応援基金 20,693,947円
		接	地方信	Ę	0	0	0	0	
		事	その化	<u>þ</u>	0	20,996	20,694	21,956	
全体		業費	一般財	源	772	1,150	1,011	195	
体コ		貝	合計(A)		772	22,146	21,705	22,151	
コス	事		正規職員	業務量	0.80 人	0.75 人	0.75 人	0.75 人	
۲	事業費			人件費	6,249	5,823	5,823	5,803	
1 1	費	人		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
円円		件	中口用喊貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	6,249	5,823	5,823	5,803	
			合計(A+B))	7,021	27,969	27,528	27,954	
	市民1人当たりのコスト(円)				78	314	309	319	

21,705,021円

指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指いがスマイル給食の品目	いがスマイル給食の品目数	個	目標	30	30	30	30
数 標	いかスマイル柏良の品日致	Ш	実績	31			
指標化できない成果			達成	103%			

方 継続

スマイル給食のメニューについて、発注の数量を把握するのに時間を要するため、希望品目の準備が間に合わない場合 があります。

年間の使用量があらかじめわかるような計画を立てていきます。

計

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)12有害鳥獣駆除事業

決算書頁 257

事業期間 名称 会計-款-項-目-大事業-中事業 **_**-施策 年度~ R6 年度 3-2 農業 H16 01-06-01-03-12-01 基本事業 3 担い手の確保・育成 部・課名 等 評価責任者·連絡先 担当 課長 堀 久仁寿 部署 産業振興部農林振興課 事務事業名 有害鳥獣駆除事業 0505-22-0712

						0595-22-9/12
	対 象	被害農家等、地元の猟友会及び会	員			
	目的	有害鳥獣個体数の減少による生息	数の適正化及び農作物	勿•畑作物被	害の削減を図る	
	根拠法令等	鳥獸保護法、伊賀市鳥獸被害防止	計画			
事務事業の概	内 容	●鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援 議会からの依頼を受けて、農産物に ました。 ○報償費 支払件数:134名 25, ・イノシシ 214頭(1頭 9,000円) ・サル 4頭(1頭 30,000円) ・サル 4頭(1頭 30,000円) ●有害鳥獣駆除奨励事業:有害鳥 しました。 ○委託料 支払件数:244名 5,7 ・有害鳥獣捕獲出役料:3,691,500 ・幼獣捕獲報償金590,000円(イノ ●特定外来種駆除業務:住民が捕 ・特定外来種駆除委託料:712,500 委託先:伊賀市猟友会	被害を与える有害鳥 131,000円 1,926,000円 120,000円 いまではできます。 はいまではできます。 45,500円 0円(出役日数3,234日 アンシ80頭(1頭7,000円 ができます。	獣(イノシシ・ ・シカ ために出動し))・サル3頭 き取り、殺処	シカ・サル)の捕獲及び駆除 2,565頭(1頭 9,000円) 23,0 した出役手当、幼獣捕獲報償 ・安全対策費1,464,000 (1頭10,000円)》 1分する業務の委託料を支出	を実施し、報償費を支出し 085,000円 で金、安全対策経費を支出 0円(1名 6,000円) しました。
概要		経費	金額		摘要	
		報償費	25,131,000円	鳥獣被害防止	紧急捕獲活動支援事業 有害駆除報	

	業に要 Eな経 など				駆除奨励事業 锺駆除業務			2,500円	特定外	島獣駆除奨励委 ト来種駆除委託 グマ捕獲檻用部	5. 注 1	
					計		31,59	0,649円				
		Į	頁目	1	R2年度決算	R3年	F度当初予算	R3年度	決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
	直	玉	県	是支出金	23,007		22,560		19,470	22,480	鳥獣被害防止緊急捕獲等対策交付金	
接			坩	地方債 0			0		0	0	19,470,000円	
	接事		7	その他	0		0		0	0		
# 												

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出	23,007	22,560	19,470	22,480	鳥獣被害防止緊急捕獲等対策交付金
		接	地方侵	į	0	0	0	0	19,470,000円
		事	その他	<u> </u>	0	0	0	0	
全 体		業費	一般財	源	11,886	14,796	12,121	14,522	
体	事業費	貝	合計(A)	34,893	37,356	31,591	37,002	
コス			正規職員	業務量	1.05 人	1.01 人	1.01 人	1.01 人	
7			止炕帜只	人件費	8,202	7,842	7,842	7,815	
<u>+</u>	賀	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
千円		件		人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	8,202	7,842	7,842	7,815	
			合計(A+B))	43,095	45,198	39,433	44,817	
	市民1人当たりのコスト(円)				476	507	442	511	

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	甫獲頭数	有害鳥獣を捕獲し、個体数を調整します。	頭	目標	2780	2343	2708	2708
標	用授政奴	问金しより。 (イノシシ・シカ・サル)	珙	実績	2783			
	指標化できない成果			達成	100.1			

方 維続 _向 被害対策として有害捕獲の推進の継続のため、狩猟免許取得者の増加が必要です。

令和3年度の伊賀市猟友会会員数244名中134名の伊賀市猟友会員数が有害鳥獣捕獲に成果を出していますが、100名以上の会員については、捕獲の実績がありません。

有害捕獲許可対象者の中には、捕獲頭数が少なく技術面で課題を持つ者もいるため、捕獲に関する技術研修を伊賀市猟 友会の協力で開催します。

安全対策経費の配分について、捕獲数の多い方と少ない方で支払額の上限設定を変更するなどして、伊賀市猟友会会員 の捕獲意欲を高めます。 <u>整理番号</u> (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)13環境保全型農業直接支援対策事業

 決算書頁

 支
 257

		リストリン	K+ A					
	コード 名称				事業期間		会計-	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	3-2	農業	H10	6 年度~	R6 年度	0	1-06-01-03-13-01
本	基本事業	1	農畜産物の生産振興		部	• 課名 等		評価責任者·連絡先
報	事務事	業名	環境保全型農業直接支援対策事業	担当部署	産業振興部	祁農林振興	課	課長 堀 久仁寿 0595-22-9712

学初学术 省	水光水工主放木匠以入放 刀木子木	•	是不派共即及刑派共派	0595-22-9712						
対 象	環境保全に効果の高い営農活動に	取り組む農業者								
目的	地球温暖化防止や生物多様性保全	等に貢献し、農業が有	する自然循環機能を維持・増進する							
根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮の	業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律、産業振興部関係補助金等交付要綱								
内 容	環境保全に効果の高い営農活動に 【交付単価】 ①有機農業の取組 10aあたり ②県特認の取組 10aあたり 【交付実績】 有機農業 カバークロップの取組 県特認(梨の減農薬栽培)の取糸	12,000円 8,000円 6件 1,012a 1件 37a	対し、交付金を交付しました。							
	経費	金額	摘要							
		2 117 400 🗆 🖽	曾培促仝刑典娄市块支扩办付仝	2 117 400 🖽						

事業に要した 主な経費 など

経費	金額	摘要	
負担金、補助及び交付金 需用費	92,000円	環境保全型農業直接支払交付金 消耗品費 燃料費	2,117,400円 86,128円 5,872円
計	2 209 400円		

	項目				R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	1,713	2,198	1,680	1,913	環境保全型農業直接支援対策交付金
全体コスト(千		接	地方信	ŧ	0	0	0	0	1,680,050円 (本体1,588,050円、推進事務費92,000円)
		接事業費	その化	p	0	0	0	200	
			一般財	源	542	698	530	605	
		貝	合計(A)	2,255	2,896	2,210	2,718	
	事業費		正規職員	業務量	0.30 人	0.20 人	0.20 人	0.40 人	
		人	止况삓貝	人件費	2,344	1,553	1,553	3,095	
	費		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
H		件	竹口巾帼貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	2,344	1,553	1,553	3,095	
			合計(A+B))	4,599	4,449	3,763	5,813	
	市	民1人	、当たりのコス	ト(円)	51	50	43	67	

	指標名	指標の説明 単位			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ŧ	取組面積	環境保全型農業に取り組む	ha	目標	24	26	28	30
栫	双粒血 慎	実施面積	IIa	実績	21.5			
	指標化できない成果	成果		達成	89.5%			

方 維続 ^向 有機農業について、国は2050年に取組面積100万ha達成をめざしており、これは2018年比で約50倍になります。当市でも環境保全型農業直接支払制度を活用し、取組面積の拡大をめざします。しかし、当交付金制度は取組農家に対する要件が厳しく、制度を利用しない有機農業者も多く存在し、交付金対象面積の増加は容易ではありませんが、制度の周知等で拡大を図ります。また、県特認として取組をおこなう梨の減農薬については、取組団体の生産意欲も高く、栽培面積を増やしていることから、事業対象面積の拡大をめざします。

交付金制度について、取り組みやすい制度に改正するよう国に要望します。取組農家に対して面積拡大の支援、また新規 取組検討をしている農家に対し、相談や事業説明を通して支援を行います。

<u>整理番号</u> (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)14循環型農業推進施設管 理経費

決算書頁 257

		アナルエラ	•					
	コード 名称			事業期間		会計-	款-項-目-大事業-中事業	
基	施策	3-2	農業	H16	年度~	R6 年度	0	1-06-01-03-14-01
本	基本事業	1	農畜産物の生産振興		部	・課名 等		評価責任者·連絡先
報	事務事	業名	循環型農業推進施設管理経費	担当部署	産業振興部	『農林振興	課	課長 堀 久仁寿 0595-22-9712

報	事務事業名	循環型農業推進施設管理経費		部署	産業振興部農林振興課	課長 堀 久仁寿 0595-22-9712					
	対 象	資源循環型農業推進施設 									
	目的	持続可能な資源循環型農業、特産品づくり及び地域景観の向上を促進し、地域活性化を図る									
	根拠法令等	尹賀市資源循環型農業推進施設の設置及び管理に関する条例									
事務事業の概要	内 容	菜の花プロジェクトを推進するうえ産、資源循環型モデル事業の一環の 指定管理先:一般社団法人 大い	として廃食油を精製しB								
概要		経費	金額		摘要						
-x	事業に要した 主な経費 など	委託料 零結料		委託先:	業推進施設指定管理料 (一社)大山田農林業公社 由設備修繕費 他						

							÷		
			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		中	国県支出	金出	0	0	0	0	指定管理者の修繕負担金
		直接事	地方侵	į	0	0	0	0	409,750円
		事	その他	<u>p</u>	0	0	410	146	
全		業費	一般財	源	3,749	4,286	4,285	2,998	
体コ		貝	合計(A))	3,749	4,286	4,695	3,144	
コス	事業費		正規職員	業務量	0.40 人	0.34 人	0.34 人	0.34 人	
7			止炕嶼貝	人件費	3,125	2,640	2,640	2,631	
+		人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
H		件	节止加赖貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	3,125	2,640	2,640	2,631	
			合計(A+B))	6,874	6,926	7,335	5,775	
市民1人当たりのコスト(円)					76	78	83	66	

4,695,000円

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	音 菜種の搾油量	搾油された菜種油の数量	1	目標	7000	7000	7000	7000
7	来性の作用重 票	作曲された米性曲の数重	kg	実績	5307			
	指標化できない成果			達成	75.8%			

方 継続 搾油用菜種が不足していることにより、施設の稼働率が低くなっています。

新規の作付農家を募集による増加と収穫量の増加を目指します。

計

牧事家

課題

整理番号 (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)03農業振興費(大事業)18強い農業・担い手づくり 283 総合支援交付金事業

決算書頁 257

		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	3-2	農業	R3	年度~	R3 年度	0	1-06-01-03-18-01
本	基本事業	2	農業・農村の多面的機能維持向上	・課名 等		評価責任者•連絡先		
報	事務事	業名	強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業	担当部署	産業振興部	『農林振興	!課	課長 堀 久仁寿 0595-22-9712

事務事業名	強い農業・担い手づくり総合支援交	付金事業	部署	産業振興部農林振興課	孫安 堀 八二寿 0595-22-9712					
対 象	(・農地プラン」で位置付けられ、農地中間管理機構を活用している中心経営体									
目的	業者の高齢化、後継者不足、荒廃農地の増加等「人と農地の問題」の解決を図る									
根拠法令等	強い農業・担い手づくり総合支援交	付金実施要綱、産業振	興部関係补	輔助金等交付要綱						
内 容	適切な「人・農地プラン」が作成されており、かつ農地中間管理機構を活用している地区において、国の基準を満たしてい中心経営体が、売上高の拡大や経営コストの縮減など意欲的に取り組む目標を定め、目標達成の手段として融資を活用して農業用機械、施設等を導入する際、融資残について補助金を交付します。 令和3年度は2経営体が国の承認を得て、補助金を交付しました。 ○交付対象地区 ・比自岐(アスパラ栽培用パイプハウス) ・西湯舟(コンバイン)									
	経費	金額		摘要						
事業に要した 主な経費 など	負担金、補助及び交付金	6,000,000円 년	強い農業・	・担い手づくり総合支援交付	寸金					

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出金 地方債 その他 一般財源		2,072	0	6,000		強い農業・担い手づくり総合支援交付金
		接			0	0	0	0	6,000,000円
		接事			0	0	0	0	
全体		業費			0	0	0	0	
体コ		負	合計(A)	2,072	0	6,000	0	
コス	事	人	正規職員	業務量	0.05 人	0.00 人	0.05 人	0.00 人	
7	事業費			人件費	391	0	389	0	
1 1	費		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
一円		件		人件費	0	0	0	0	
:)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)		391	0	389	0	
			合計(A+B))	2,463	0	6,389	0	
	市民1人当たりのコスト(円)			28	0	72	0		

6,000,000円

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指				目標		1	-	1
標				実績	1			
	指標化できない成果がぬ	パイント制による国の採択(全国一律)、審査が厳しく採択の確実性がない。)となるた \	達成	_			

方 継続

地域農業の中心となる経営体の育成を目的とした国の事業であるが、ポイント制による採択となることから、審査に通るこ とが困難となっており、希望者からも不満の声があがっています。 また、国の補正予算を財源としている為、次年度に当制度が存在するのか否かが不明です。

引続き、県・JAと連携を取りながら、事業採択にかかるポイントを少しでも取れるように情報共有の強化を図ります。

会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)04農業生産対策費(大事業)01集落営農支援事業

決算書頁 259

		AND WILLIAM TO THE STREET THE		1	Ar with a s	HILDS IN COMPA								
情報	事務事業名	集落営農支援事業		担当部署	産業振興部農林振興課	課長 堀 久仁寿 0595-22-9712								
	対 象	営農活動のための農業用機械器具	または、建物の新設及	び改修を必	必要としている集落営農組織									
	目 的	集落営農組織を支援し、地域農業の	D安定的発展と集落環境	竟及び機能	を維持する									
	根拠法令等	産業振興部関係補助金等交付要綱												
事務事業の概要	内 容	集落営農組織を対象に農業用機 ました。 補助金取組組織 11件 補助金総額 10,600,000円		または、営	r 農組織等に必要な建物の新	築・改修費の助成を行い								
概要		経費	金額		摘要									
	事業に要した 主な経費 など	負担金、補助及び交付金			支援事業補助金(11件) 力化技術機械導入1件)									
		計	10,600,000円											

	項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
		直	国県支出金		0	0	0	0	ふるさと応援基金
		接	地方債		0	0	0	0	10,600,000円
		事	その他		0	0	10,600	11,000	
全		業費	一般財源		11,000	10,600	0	0	
体コ		貝	合計(A)		11,000	10,600	10,600	11,000	
ス	事業費	人件費	正規職員	業務量	0.20 人	0.15 人	0.15 人	0.15 人	
7				人件費	1,563	1,165	1,165	1,161	
+	賀		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
H				人件費	0	0	0	0	
)			会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)		1,563	1,165	1,165	1,161	
			合計(A+B))	12,563	11,765	11,765	12,161	
	市	旲1人	、当たりのコス	ト(円)	139	132	132	139	

指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指 交付件数	事業実施組織数	件	目標	10	12	12	12
標	争未关旭祖臧奴	111	実績	11			
指標化できない成果			達成	110%			

方 継続 向 農業者の高齢化による後継者不足、離農等によって集落営農組織に対するニーズは高まっています。また、農作業量も 増加しており、作業員や農業機器等への負担も増加しています。

近年の省力化技術の向上に伴い、機械類の高額化が進んでいます。集落営農組織の存続のために、作業負担軽減、費 用負担軽減は喫緊の課題となっています。

コンバインやトラクターなどの従来から申請対象のメインなっていた機械に関しては機能が充実した機種の導入を支援するとともに、ラジコン草刈機や農業用ドローンなど作業省カ化技術機械の導入に対する支援について、さらに強化していきます。

整理番号 (4-51) (4-6

会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)04農業生産対策費(大事業)01集落営農支援事業

決算書頁 259

E =	坐本事本 3	近0.上0.脏水 月次			마 자기 국								
情報	事務事業名	事務事業名農林業公社及び生産組合支援事業		担当部署	産業振興部農林振興課	課長 堀 久仁寿 0595-22-9712							
	対 象	一般社団法人大山田農林業公社及	なび会員										
	目的	地域の農家の営農継続を支援し、農林業公社の運営体制の強化充実を図る											
	根拠法令等	一般社団法人大山田農林業公社会	会費規程 産業振興部関	係補助金	等交付要綱								
事務事業の概要	内 容	農用地等の保全事業等を行うとと の確立を目的に大山田農林業公社 大山田農林業公社が主体となり遊	:に対し運営助成を実施	しました。									
要		経費	金額		摘要								
	事業に要した 主な経費 など	負担金、補助及び交付金	· ·		林業公社負担金 林業公社運営助成金								

	項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
		直	国県支出金		0	0	0	0	
		接	地方債		0	0	0	0	
		事	その他		0	0	0	0	
全		業費	一般財源		4,500	4,500	4,500	4,500	
体コ		貝	合計(A)		4,500	4,500	4,500	4,500	
ス	事		正規職員	業務量	0.20 人	0.16 人	0.16 人	0.16 人	
7	事業費	人件費		人件費	1,563	1,243	1,243	1,238	
+			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
H				人件費	0	0	0	0	
)			会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)		1,563	1,243	1,243	1,238	
			合計(A+B)		6,063	5,743	5,743	5,738	
	市	民1人	、当たりのコス	ト(円)	67	65	65	66	

4,500,000円

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	農地所有者代理事業で	大山田農林業公社で取り扱う	ha	目標	200	202	204	206
標	取り扱う農地の面積	農地の面積		実績	198			
	指標化できない成果			達成	99%			

方 継続 公益事業でおこなう農地所有者代理事業については、担い手への農地集積、農作業の受委託斡旋などで実績を残しています。しかし、収益事業や法人会計については、経営状況の改善を引き続き指導する必要があります。 新型コロナウイルス感染症による収益事業等への影響が長引いており、令和2年度より改善は見られたものの、依然厳し

い状況が続いています。JA伊賀ふるさとなど他の出資元と協力し改善に向けて指導をおこなっていきます。

農林業公社の運営状況の改善については、理事会等で提案・指導を行います。

整理番号 (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)02土地改良事業管理 286 経費

事業期間

H16 年度~ R6 年度

名称

決算書頁 259

会計-款-項-目-大事業-中事業

01-06-01-05-02-01

	心來	J-Z	長未		пто	千度· RO 平皮	01-00-01-03-02-01					
本	基本事業	2	農業・農村の多面的機能維持向上		10.44	部・課名 等	評価責任者•連絡先					
報	事務事業	美名	土地改良事業管理経費		担当部署	産業振興部農村整備課	課長 岩野 庄司 0595-22-9718					
	対 象	Ż	三重県土地改良事業団体連合会及	び土地改良区								
	目的	þ	対象となる団体の活動が円滑となる) _o								
	根拠法令	等	土地改良法第91条									
			三重県土地改良事業団体連合会の	別試課金と市内の土地改良区へ水路等施設管理業務委託料を支出しました。								
			·水路等施設管理業務委託 N=2件(伊賀町土地改良区·阿山町土地改良区)									
	+ =	,										
	内容	ř										
務												
事業												
務事業の概												
概更			経費	金額		摘要						
			水路等施設管理業務委託料	980,000円 信	押賀町土地	也改良区·阿山町土地改	坟良区					
			負担金									
			一般賦課金	110,000円 円	F 等割		10,000円					
	事業に要		12/12/12	,		割(7,310ha)	100,000円					
	主な経 など		特別賦課金			改良団体連合会賦課金(特別)					
	ے۔ ن			79,000円 숙	予和3年度	E農道台帳特別賦課金						
			計	2,143,000円								

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0	0	0	
		接	地方債	Ę	0	0	0	0	
		事	その化	<u>p</u>	0	0	0	0	
全		業費	一般財源		1,831	2,505	2,143	3,130	
全体コス		貝	合計(A)	1,831	2,505	2,143	3,130	
ス	事		正規職員	業務量	0.15 人	0.15 人	0.15 人	0.15 人	
7	業費			人件費	1,172	1,165	1,165	1,161	
(+	費	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人	
千円		件	竹口巾帼貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	1,172	1,165	1,165	1,161	
			合計(A+B))	3,003	3,670	3,308	4,291	
	市	民1人	、当たりのコス	ト(円)	34	42	38	49	

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	施設・用水の維持	事業計画に対する	団体	目標	2	2	2	2
標	管理·実績	達成団体数	型条	実績	2			
	指標化できない成果			達成	100%			

継続

引き続き土地改良区へ施設維持管理を目的とした業務委託が必要である。

課題

コード

3-2 農業

施策

<u>整理番号</u> (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)02土地改良事業管理

決算書頁 259

		小工具							
		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業	
基	施策	3-2	農業	H16 年度~ R6 年			01-06-01-05-02-02		
本		2	農業・農村の多面的機能維持向上	担当	部	• 課名 等		評価責任者·連絡先	
情報	事務事業名		土地改良施設維持管理適正化事業		産業振興部農村整備課			課長 岩野 庄司	
			工名以及他的作为自己是正位于未	部署	注水弧火炉及门垫桶		1 1111	0595-22-9718	
	対	象	過去に造成された土地改良施設	過去に造成された土地改良施設					
	В	奶	┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃	 列 ス					

目 的 土地改良施設の老朽化部分を更新して施設機能の回復を図る。 根拠法令等 地方財政法第10条の2

農業用施設の老朽化対策として施設の整備補修を行う事業で、補修を要する施設の必要経費30%を5年間均等に県土地連合会に拠出し工事を実施する事業です。

【補助率】国:30%、県:30%、市:20%、地元:20%

農業用施設の老朽化にともなう更新及び改修を行い機能回復を行いました。

- ・竹谷揚水機分解整備工事では、揚水機場の両口吸込渦巻(φ250×φ200×45W)ポンプオーバーホール。
- ・松之本井堰用水路改修工事では、用水路(H700×W1500)L=148mの改修。
- ・西之澤大池グラウト工事では、ため池堤体の漏水防止のためグラウト工事(N=65本)延長L=48m。
- ・欠田水門改修工事では、鋼製三方水密ゲートの樹脂製板(H600×W1150)とフレーム(H1900 SUS製)の更新。
- ・河合頭首工塗装工事では、施設の塗装塗替えA=184㎡。
- ・泥淵頭首工改修工事では、井堰ゲートL=105mの塗装塗替えA=456㎡と水密性ゴムパッキンの更新。
- ・河合頭首工整備工事では、機械施設の点検・整備。

	経費	金額	摘要	
	委託料	594,000円	オオサンショウウオ保護調査業務委託料(2件)	594,000円
	工事請負費	65,336,700円	竹谷揚水機分解整備工事	4,620,000円
			松之本井堰用水路改修工事	17,502,100円
丰米/- - エ/ - 4			西之澤大池グラウト工事	16,056,700円
事業に要した			欠田水門改修工事	3,520,000円
主な経費 など			河合頭首工塗装工事	2,591,600円
<i>'&C</i>			泥淵頭首工改修工事	18,406,300円
			河合頭首工整備工事	2,640,000円
	負担金、補助及び交付金	9,035,000円	土地改良施設維持管理適正化事業特別賦課金	9,035,000円
	計	74,965,700円		

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金比	0	0	0		土地改良施設維持管理適正化事業交付金
		接	地方侵	Ę	0	0	0	0	農業関係土木事業分担金
		事	その他	b	22,047	64,527	64,953	45,514	
全 体		業費	一般財	源	5,047	9,967	10,013	7,496	
体コ		貝	合計(A))	27,094	74,494	74,966	53,010	
ス	事		正規職員	業務量	0.45 人	0.45 人	0.70 人	0.45 人	
7	事業費		止炕帆貝	人件費	3,515	3,494	5,435	3,482	
(+	賀	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人	
H		件	行江川城兵	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	3,515	3,494	5,435	3,482	
			合計(A+B))	30,609	77,988	80,401	56,492	
	市	民1人	、当たりのコスト	ト(円)	338	874	901	644	

	指標名	指標の説明	単位	/	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	更新工事の実施地区数	当該年度に実施する地区数	바다	目標	6	3	3	2
標	更利工事の実施地区数	コ該牛及に実施する地区数	地区	実績	6			
	指標化できない成果			達成	100%			

方 継続

内容

土地改良施設の多くは戦後から高度経済成長期に整備されたものであり、老朽化が進行している。

本事業において、土地改良施設の老朽化部分を計画的に更新して施設機能の回復を図る。

牧善案

課題

整理番号 288 -

主な経費

など

負担金、補助及び交付金

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)03市単土地改良事業

決算書頁 259

83,600円

5,360,650円

1,473,557円

基施策 3-2 農業 基本事業 日16 年度~ R6年度 01-06-01-05-03-01 本本事業 基本事業 企業・農村の多面的機能維持向上 事務事業名 市単土地改良事業 日16 年度~ R6年度 01-06-01-05-03-01 部・課名等 評価責任者・連絡先 担当 企業振興部農村整備課 企業振興部農村整備課 0595-22-9718			\ <u></u>	7° 从五日(初7° 0股日水及(37° 1股水及(日)° 0	27127	7 7 7 7 7	, , , , , , ,		<u> </u>
本本事業 ② 農業・農村の多面的機能維持向上 部・課名等 評価責任者・連絡先 報 事務事業名 市単土地改良事業 世当 産業振興部農村整備課 課長 岩野 庄司			니	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
程 報 事務事業名 市単土地改良事業 担当 課長 岩野 庄司 部署 産業振興部農村整備課	基	施策	3-2	農業	H16	年度~	R6 年度	0	1-06-01-05-03-01
事務事業名 市単土地改良事業	本	基本事業	2	農業・農村の多面的機能維持向上		部	・課名 等		評価責任者•連絡先
	報報	事務事	業名	市単土地改良事業	—	産業振興部	祁農村整備	課	

事務事業名	市単土地改良事業		産業振興部農村整備	(9595-22-9718)						
対 象	国・県等の補助対象とならない、受	益者2戸以上の小規模	な土地改良事業を行おうとする受	益者						
目的	農業用施設のきめ細やかな整備を	行い農業生産性の向」	と維持管理費の軽減を図る。							
根拠法令等	伊賀市農林関係災害復旧事業及び	「土地改良事業等に対	する小規模(工事費・材料費)交付	要綱						
内容	広域農道に架設されている橋梁(N 農道について、舗装工事を行いまし ・広域農道橋梁点検診断調査業務 ・柏尾地内農道舗装工事 施工延 小規模土地改良事業等補助金によ ・工事費補助:17件 ・材料費補助:8件	た。 务委託 N=31.0橋 長L=200m As舗装コ	⊑A=1,498m²	が多く破損が著しい柏尾地内の						
	経費	金額	摘要							
	委託料	6,685,800円	広域農道橋梁点検診断調査業	務委託 6,685,800円						
	使用料及び賃借料	343,893円	システム等使用料	343,893円						
事業に要した主な経費	工事請負費 14,164,700円 柏尾地内農道舗装工事 14,081,100円									

金善池サイホン整備工事

6,834,207円 小規模土地改良事業等補助金工事費 17件

材料費 8件

						計	28,02	28,600円		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
			項	目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国	県支出	金出	0	0	0	0	ふるさと応援基金繰入金
		接	j	地方債	Ę	0	0	0 13,700		合併特例債 (市単土地改良事業農業基盤整 備事業)
	接		-	その他		1,653	13,180	6,686	0	
全	全 業		_	般財	源	13,299	5,361	7,643	7,139	
体コ		貝	合	·計(A)		14,952	18,541	28,029	7,139	
コス	事		正相時	** 吕	業務量	0.40 人	0.40 人	0.47 人	0.40 人	
7	事業費		正規聆	以 只	人件費	3,125	3,106	3,650	3,095	
1			再任用	融昌	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人	
H	件		サエカ	拟只	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年		業務量	0.00 人	0.00 人	人	人	
			用職	員	人件費	0	0	0	0	
			小	計(B)	3,125	3,106	3,650	3,095	
			合計(A	4+B))	18,077	21,647	31,679	10,234	
	市民1人当たりのコスト(F			ト(円)	200	243	355	117		

指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指 最終予算の執行率	最終予算の執行割合	0/	目標	100	100	100	100
標	取於「好の採用引口	%	実績	82.12			
指標化できない成果			達成	82.12%			

方 継続 大規模土地改良事業は国・県等の補助対象となるが、小規模土地改良事業については他に支援施策がなく、優良な農地の維持を行うためには継続した支援が必要。

地域の要望に沿える様に、財源の確保や多面的機能支払交付金による取り組みにより対応が出来るよう、指導や助言を 改行う。 善 <u>整理番号</u> (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)06多面的機能支払交付金事業

名称

コード 3-2 農業
 決算書頁

 259

会計-款-項-目-大事業-中事業

01-06-01-05-06-01

事業期間

H26 年度~ R6 年度

*		the second secon											
本信	基本事業 ②	農業・農村の多面的機能維持向上		+0.1/	部・課名 等	評価責任者·連絡先							
報	事務事業名	 多面的機能支払交付金事業		担当部署	 産業振興部農村整備課	課長 岩野 庄司							
11.4	争伤争未有	多面的機能又抵艾的 亚事業		HP78	性未派央 印辰刊宝调床 	0595-22-9718							
	対 象	多面的機能支払交付金を活用する	活動組織										
				· 1= 1 =									
	目的	農地及び農村資源(農道·水路等)保全のための共同活動を支援する。											
	根拠法令等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律											
事務事業の概要	内 容	農村地域が有する多面的機能を維											
要		経費	金額		摘要								
_		需用費	1,652,035円 消										
		人 投務費	91,114円 辽										
		使用料及び賃借料	897,600円 冒										
	事業に要した	負担金、補助及び交付金			能支払交付金(106地区)	193,442,236円							
	主な経費				支払交付金(長寿命化 10地	, , ,							
	など			農地維持支払交付金 112,066,400F									
				資 源问」	上支払交付金(共同活動)	69,067,836円							
			196,082,985円										

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出	152,296	158,162	147,722	156,417	多面的機能支払交付金
		接	地方侵	į	0	0			
		事	その他	ի	0	0			
全体		業 費	一般財源		46,134	52,300	48,361	51,396	
体コ			合計(A)	198,430	210,462	196,083	207,813	
コス	事		正規職員	業務量	1.20 人	1.20 人	1.20 人	1.20 人	
7	事業費	人	正况삓貝	人件費	9,374	9,317	9,317	9,285	
1	費		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人	
H		件		人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	1.50 人	1.50 人	1.50 人	1.50 人	
			用職員	人件費	2,861	2,394	2,394	2,426	
			小計(B)	12,235	11,711	11,711	11,711	
			合計(A+B))	210,665	222,173	207,794	219,524	
	市	民1人	、当たりのコス	ト(円)	2,326	2,489	2,328	2,501	

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	取組地区数	多面的機能支払交付金事業	地区	目標	106	104	106	106
標	双祖地区数	に取り組んでいる組織数	식	実績	106			
	指標化できない成果			達成	100%			

方 継続 高齢化や人口減少に伴い地域での共同活動がこれまでと同じ規模での実施が難しくなってきている。又、本事業での活動組織での事務作業が多い為、活動の継続を心配している組織も多い。

活動組織及び市の事務の簡素化・効率化を図り、多面的機能支払交付金事業に取り組んでいない地域に対し、改めて PR活動を実施する。

(会計)01一般会計(勢)06農林業費(項)01農業費(日)05十批改良事業費(大事業)07厚堂十批改良事業

決算書頁 259

			/01 版公司(称/00展作朱真(克/01展朱真(日/00工		P 不 只 \ \ \ \ -	# // / / /	<u>, </u>	
		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	3-2	農業	H16	年度~	R6 年度	0	1-06-01-05-07-01
不	基本事業	2	農業・農村の多面的機能維持向上		部	・課名 等		評価責任者·連絡先
基本情報	事務事	業夕	県営事業負担金	担当 部署	産業振興部	R. 農 村 敕 借	垂	課長 岩野 庄司
	尹仍尹	未扣	示占于木具 但业	HIP: E	生未派共 1	沙灰竹亚崃	杯	0595-22-9718

					0000 22 0710						
	対 象	県営土地改良事業を行う土地改良	施設の受益者								
	目的	国・県の補助を受けて行う大規模な	土地改良事業の受益	者負担の内、市が負うべき事業費を負担す	る。						
	根拠法令等	土地改良法第85条、地方財政法第	第10条の2								
事務事業の概要	内 容	県営事業で行っている下記の5事業の市負担金を支出しました。 ・農村振興総合整備事業による水路・取水施設整備。 (伊賀2期地区) ・基幹農道整備事業(保全対策型)による農道補修、法面整備。 (伊賀地区) ・農業競争力強化基盤整備事業による農業施設の改修。 (青蓮寺2期地区・青蓮寺3期地区) ・農業水利施設保全合理化事業による測量業務・農業施設の改修。 (滝谷用水地区・滝谷支線用水地区・服部川沿岸3期地区) ・農村地域防災減災事業による農業施設の改修。 (高倉大橋地区・猿野大池地区)									
似更		経費	金額	摘要							
<u> </u>		負担金、補助及び交付金	91,391,390円	県営農村振興総合整備事業負担金	26,240,140円						
				伊賀2期地区:水路、取水施設整備	等						
				基幹農道整備保全対策事業負担金	750,000円						
	車券1−亜1 +-			伊賀地区:舗装、法面整備(石川・柘植	<u>i</u>)						
	事業に要した主な経費			農業競争力強化基盤整備事業負担金	1,481,250円						
	エな屁員など			青蓮寺用水第2期地区・3期地区							
	5.2			農業水利施設保全合理化事業負担金	, , ,						
				滝谷用水地区:測量業務(槙山~東湯舟)ほか2							
				農村地域防災減災事業負担金	22,920,000円						
				高倉大橋地区・猿野大池地区							
		計	91,391,390円								

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0			県営土地改良事業分担金
		接	地方債	ŧ	71,300	60,800	53,300	54,800	地方債(農業基盤整備事業)
		接事	その化	<u>t</u>	16,327	20,612	22,429	9,046	
全体		業	一般財	源	18,000	4,782	15,662	3,999	
		費	合計(A)	105,627	86,194	91,391	67,845	
コス	事		工 担聯号	業務量	0.35 人	0.35 人	0.35 人	0.35 人	
۲	事業費		正規職員	人件費	2,734	2,718	2,718	2,708	
1 1	費	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人	
H		件	丹江川嶼貝	人件費	0	0	0	0	
· ·		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	2,734	2,718	2,718	2,708	
			合計(A+B)	108,361	88,912	94,109	70,553	
	市	民1人	、当たりのコス	ト(円)	1,197	997	1,055	804	

	指標名	指標の説明	単位	/	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指				目標				
標				実績				
	指標化できない成果 ^県 め	営事業にかかる負担金の支出の <i>み</i> 。	であるた	達成				

方 継続 中山間地域では、農道幅員が狭く大型機械の導入が図れないことや、経年劣化に伴う農業用施設の補修が必要なことか ら生産性の向上に大きな支障となっている。また、農業従事者の高齢化により担い手の確保が課題となっている。

農村振興総合整備事業等により農業用施設の修繕や農道拡幅を行うことにより、大型機械の導入が可能となり生産性の 向上と担い手の確保が見込まれるため継続して県営事業による農業基盤整備の進捗を図る必要がある。

攻善家

 整理番号
 291 - (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(月)05十地改良事業費(大事業)09農道台帳整備事業

決算書頁 261

		<u> </u>						
		コート	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	3-2	農業	H3	0 年度~	R6 年度	0	1-06-01-05-09-01
本	基本事業	2	農業・農村の多面的機能維持向上		部	・課名 等		評価責任者·連絡先
情報	事務事	業名	農道台帳整備事業	担当 部署	産業振興部	8農村整備	課	課長 岩野 庄司
								0595-22-9718

Jan 1	基本事業 (2)	農業・農村の多面的機能維持向上			部・誅名 寺	評価頁仕有•理絡先							
情報	事務事業名	農道台帳整備事業		担当部署	産業振興部農村整備課	課長 岩野 庄司 0595-22-9718							
	対 象	広域農道、農免道路等の幹線農道	の利用者										
	目 的	幹線農道の効率的な整備と、円滑な	は管理のため										
		門賀市法定外公共物管理条例											
事務事業の概要		広域農道西高倉工区大杉谷線(延長1,150m)について、現地測量のうえ、農道台帳データを作成し、農道台帳システムに搭成した。 委託業務内容】 農道台帳修正(地形測量・現地測定等) 農道台帳データ作成 打合せ・システム設置											
要		経費	金額		摘要								
^		委託料 使用料			修正業務委託 直西高倉工区:大杉谷線)	1,210,000円							
	事業に要した 主な経費 など		105,600円	農道台帳:	システム クラウド使用料	105,600円							
		計	1,315,600円										

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0	0	0	
		接	地方侵	責	0	0	0	0	
		接事	その他	<u>t</u>	0	0	0	0	
全体		業費	一般財	源	1,262	1,349	1,316	1,393	
体コ		貝	合計(A)	1,262	1,349	1,316	1,393	
コス	事		工 担聯号	業務量	0.05 人	0.05 人	0.05 人	0.05 人	
7	事業費		正規職員	人件費	391	389	389	387	
1	費	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
円円		件		人件費	0	0	0	0	
.)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	391	389	389	387	
			合計(A+B))	1,653	1,738	1,705	1,780	
	市	民1人	、当たりのコスト	ト(円)	19	20	20	21	

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	台帳整備農道延長	台帳整備(更新)計画に対す る実際に台帳を整備(更新)し	km	目標	1.0	0.53	0.28	0.40
標	口恢罡佣辰坦延衣	た農道の延長	Kill	実績	1.15			
	指標化できない成果			達成	115.0%			

方 . 継続 市が直轄管理する幹線農道については農道台帳を作成済であるが、作成後30年近く経過しているものもあり、現場の状況が変化している部分が見受けられる。また、直轄農道と密接に関係している農道については、適切な管理のために台帳を作成していく必要がある。

広域農道への取付け道路等、直轄農道と密接に関係している農道について、優先的に農道台帳を作成していく。

整理番号 292 - (会計

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)10農業水路等長寿命化·防災減災事業

決算書頁 261

		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	2-1	危機管理	H25	年度~	R6 年度	0	1-06-01-05-10-01
本	基本事業	4	ため池の適正管理		部	・課名 等		評価責任者·連絡先
報	事務事	業名	農業水路等長寿命化•防災減災事業	担当 部署	産業振興部	『農村整備	課	課長 岩野 庄司 0595-22-9718
								0000 ZE 0710

事務事業名	農業水路等長寿命化•防災減災事	業	部者	産業振興部農村整備課 	0595-22-9718						
対 象	農地及び農業用施設の受益者										
目的	農地及び農業用施設のきめ細やか	な整備を行う。									
根拠法令等	地方財政法第10条の2										
内 容	用水供給安定化を図るため、農地 ・西明寺地区農業用水路改修工事 ため池廃止要望のあった、防災重点 ・丸山池他5池廃止設計業務委託及 ため池等整備工事を実施しました。 ・河内谷池改修工事 かご工 L=	構造物取壊し工 点農業用ため池7池にない廃池工事の実施	V=43.0㎡ ついて廃池	水路工 L=96.0m 他6作 設計業務を行い、うち3池の序							
	経費	金額		摘要							
	需用費	312,589円	消耗品∙燃	料費							
	委託料	17,197,300円	ため池等塾	睯備事業測量設計業務委 部	E料						
			(繰)丸山	」池他5池廃止設計業務委	, , ,						
事業に要した				則量設計業・生物調査・復元測	, , ,						
主な経費	工事請負費	63,552,000円		₣長寿命化·防災減災事業工事 							
など				山池廃池工事	6,424,000円						
				廃池工事 4件	17,147,000円						
				等長寿命化・防災減災事業工事	, ,						
			ため心寺整位	備事業工事費 河内谷池改修	工事 3,026,100円						
	計	81,061,889円									

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	39,052	92,078	64,603	47,847	農業水路等長寿命化・防災減災事業補助金
		接	地方侵	į	5,300	8,500	7,100	4,100	
		事	その他		4,567	9,252	8,386	5,917	
全		業費	一般財源		902	8,011	973	1,675	
体コ		貝	合計(A)		49,821	117,841	81,062	59,539	
ス	事	人	正規職員	業務量	0.55 人	0.55 人	0.70 人	0.60 人	
7	事業費			人件費	4,297	4,271	5,435	4,643	
+	費		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
H		件		人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	4,297	4,271	5,435	4,643	
			合計(A+B)		54,118	122,112	86,497	64,182	
	市	旲1人	、当たりのコス	ト(円)	598	1,369	970	732	

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
指	整備工事の実施地区数	事業により受益を受ける地域	地区	目標 12	3	5	3		
標	空哺工事の关心地区数	数	신	実績	12			3 3	
	指標化できない成果			達成	100%				

方 継続 向 農業用水路等について、経年劣化に伴う施設の機能低下がみられる水路が多く用水供給の安定化を図るため継続的に 事業を推進し実施して行く必要がある。また、農業用ため池として利用されなくなった防災重点農業用ため池については、 防災の観点から市民の安全安心の生活を確保するため、ため池の廃止工事を計画的に実施する必要がある。

農業用水路等施設の機能低下がみられることから安定化を図るため、計画的、継続的に事業を実施する。 農業用ため池として利用されなくなった防災重点農業用ため池については、地域の合意形成に努め、廃止工事を計画的 に実施する。 <u>整理番号</u> (会計)01一般会計(款)06農林業

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)12団体営ため池等整備事業

決算書頁 261

			17						
		П 1,	名称	事業期間				会計-款-項-目-大事業-中事業	
基	施策 2-1		危機管理	H31 年度~ R6 年月		R6 年度	01-06-01-05-12-01		
本	基本事業	4	ため池の適正管理		部	• 課名 等		評価責任者·連絡先	
帽報	事務事業名		団体営ため池等整備事業	担当 部署	産業振興部	R農村整備	課	課長 岩野 庄司	
	1-325-1-	/K H	HI HICENS OF EMILIES		127011070	PACTIE	7 H214	0595-22-9718	

対 象	団体営ため池等整備事業を行う受益者
目的	農業用ため池のきめ細やかな整備を行う。
根拠法令等	土地改良法第85条、地方財政法第10条の2
	伊賀市内の防災重点農業用ため池の多くが耐震診断解析が未調査である事から、本事業において調査を実施しました。

・防災重点農業用ため池の地質調査業務90池。

- ・防災重点農業用ため池の耐震診断解析68池。
- ・農業用ため池調査として、現状ため池の実態調査160池。

内容

事業に要した 主な経費 など

経費	金額	摘要	
地質調査委託料	302,975,200円	大谷池他17池地質調査業務委託	61,498,800円
		大沢池他16池地質調査業務委託	56,012,000円
		鶴喰池他17池地質調査業務委託	54,369,700円
		他6件	131,094,700円
実施計画策定業務委託料	27,599,000円	馬場谷池他1池事業計画策定業務	17,391,000円
		他2件	10,208,000円
ため池耐震診断業務委託料	187,737,000円	千代鶴池他39池耐震診断解析業務委託	111,855,700円
		他2件	75,881,300円
ため池調査業務委託料	4,853,200円	農業用ため池調査業務委託	4,853,200円
計	523,164,400円		

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出金	80,820	557,284	518,237	614,288	震災対策農業水利施設整備事業補助金 団体営ため池等整備事業補助金
		接事	地方侵	į	0	0			凹体呂にの池寺笠岬争未補助並
		事	その他		0	0		1,500	
全		業費	一般財源		1,293	1,362	4,928	5,684	
体コ		貝	合計(A)		82,113	558,646	523,165	621,472	
コス	事業費	人	正規職員	業務量	0.55 人	0.55 人	2.10 人	2.10 人	
7			正烷赖貝	人件費	4,297	4,271	16,305	16,248	
(F	費		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人	
円		件		人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	4,297	4,271	16,305	16,248	
			合計(A+B))	86,410	562,917	539,470	637,720	
市民1人当たりのコスト(円) 955						6,307	6,044	7,264	

	指標名	指標の説明	単位	/	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
指標		防災重点農業用ため池において耐震診断解析に必要な	池	目標	85 85 85			85		
	数	地質ボーリング調査を行った 池数	흰	実績	90		\setminus	85		
	指標化できない成果			達成	105.8%					

方 継続 向 伊賀市では約1,400箇所の農業用ため池を有しており、このうち約550箇所が防災重点農業用ため池に位置付けされ、一部の防災重点農業用ため池については耐震調査を行い、緊急度の高いものから防災工事を行う必要があります。また、耐震調査が未実施のため池については、順次耐震診断を行い、対策が必要と判断されたため池については、優先順位の高いものから改修整備を実施して行く必要があります。

伊賀市内の防災重点農業用ため池の多くが耐震診断解析が未調査である事から、国の補助事業を活用し計画的に調 査を実施する。

案

<u>整理番号</u> 294 - (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)15農地中間管理機構 関連農地整備事業

名称

コード

施策 3-2 農業

事業期間

R2 年度~ R3 年度

決算書頁 261

会計-款-項-目-大事業-中事業

01-06-01-05-15-01

本	基本事業 ②	農業・農村の多面的機能維持向上			部・課名 等	評価責任者•連絡先				
情報	事務事業名	農地中間管理機構関連農地整備事	業	担当部署	産業振興部農村整備課	課長 岩野 庄司 0595-22-9718				
	対 象	諏訪地内ほ場整備対象の受益者								
	目的	ま場整備計画の策定								
	根拠法令等	土地改良法第85条								
事務事業の概要	内 容	ら、地域では農業の将来計画を明研 この『人・農地プラン』に準じて、農業 農地整備事業により、ほ場整備を実 ・農地中間管理機構関連農地整備	農地が急傾斜地に位置し、耕作条件が悪いことから離農と農地の荒廃が懸念されています。このの将来計画を明確化した『人・農地プラン』が作成されました。 の将来計画を明確化した『人・農地プラン』が作成されました。 ン』に準じて、農業耕作条件の改善を図るとともに、将来の担い手を確保するため農地中間管理機 は、ほ場整備を実施します。なお当事業は令和4年度より県営事業として計画を進めていきます。 構関連農地整備事業 務:A=25.0haの事業計画策定を実施しました。							
恢		経費	金額		摘要					
×	事業に要した 主な経費 など	委託料 負担金	642,800円	▪現年度 ▪繰越	策定業務委託(その2) ・理機構関連農地整備事業負担 (諏訪地区: 当					
		計	10,943,200円							

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出	4,375	13,872	10,301	0	農地中間管理機構関連農地整備事業委託金
		接	地方債		0	0	0	0	
		事	その他		0	150	0	0	
全体		業費	一般財源		20,756	1,534	643	0	
体コ		貝	合計(A)		25,131	15,556	10,944	0	
コス	事	人	正規職員	業務量	0.50 人	0.50 人	0.57 人	人	
7	事業費			人件費	3,906	3,882	4,426	0	
(+	費		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人	
円		件		人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	3,906	3,882	4,426	0	
			合計(A+B))	29,037	19,438	15,370	0	
	市	民1人	、当たりのコス	ト(円)	321	218	173	0	

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
指	取 织 + M 豆 米b	農地中間管理機構関連農地	디샤	目標	1	0	0	0		
標	取組地区数	整備事業に取組んだ地区数	地区	実績	1			令和6年度 0		
	指標化できない成果			達成	100%					

方 完了 向	題	
	改 善 案	

決算書頁 整理番号 (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)05土地改良事業費(大事業)16農業用施設アスベ 295 261 スト対策事業 事業期間 名称 会計-款-項-目-大事業-中事業 ⊐-ード 施策 3-2 農業 R3 年度~ R3 年度 01-06-01-05-16-01 基本事業 2 農業・農村の多面的機能維持向上 部·課名等 評価責任者·連絡先 担当 課長 岩野 庄司 部署 事務事業名 農業用施設アスベスト対策事業 產業振興部農村整備課 0595-22-9718 青蓮寺地区(安場地内)農地及び農業用施設の受益者 対 象 目 的 農地及び農業用施設のきめ細やかな整備を行う 根拠法令等 土地改良法第85条 昭和43年に国営青蓮寺地区総合農地開発事業としてほ場整備された当該地区の用水施設において、経年劣化による破損 等が生じていたため、農業用水の安定化を図るべく改修のためのアスベスト対策計画策定業務を行いました。 ・農業用施設アスベスト対策事業 青蓮寺地区事業計画策定業務委託 石綿管計画延長L=1.1km 受益面積A=100ha 経済効果N = 1式 内容 経費 金額 委託料 7.004.800円 農業用施設アスベスト対策事業 青蓮寺地区事業計画策定業務委託 7,004,800円 事業に要した 主な経費 など 7,004,800円 項目 R2年度決算 R3年度当初予算 R3年度決算 R4年度当初予算 特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 農業用施設アスベスト対策事業補助金 国県支出金 7,000 0 0 0 0 地方债 0 接 0 0 0 0 事 その他 0 0 0 全体コスト(千円 一般財源 費 0 0 合計(A) n 7,005 業務量 人 人 0.16 人 人 正規職員 業 人件費 1,243 0 O 0 業務量 人 人 人 人 再任用職員 件 人件費 0 業務量 人 人 人 会計年度任 用職員 人件費 0 0 0 0 0 0 0 小計(B) 1,243 合計(A+B) 0 0 8.248 0 0 0 0 市民1人当たりのコスト(円) 93

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ŧ	E Tro 40 th 10 米h	農業用施設アスベスト対策事	地区	目標	1	0	0	0
ŧ	取組地区数	業に取組んだ地区数	1UIC	実績	1			
	指標化できない成果			達成	100%			

方 完了 整理番号 296 -

会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)06国土調查費(大事業)01国土調查事業

決算書頁 261

느		八五山	/01 一放云前 (秋/00辰怀未复(境/01辰未复(日/00色	上訓且了	1(八尹禾/		可且尹	₹
		コード	名称		事業期間		会計-	款-項-目-大事業-中事業
基		3-2	農業	H16	年度~	R6 年度	0	1-06-01-06-01-01
本	基本事業	2	農業・農村の多面的機能維持向上		部	・課名 等		評価責任者·連絡先
幸	事務事	業名	国土調査推進事業	担当 部署	産業振興音	『農村整備	課	課長 岩野 庄司
	1 100 1	ж п			エバルバノト	17.DC 17.12 (III	7 H214	0595-22-9718

	0595-22-9718
対 象	地籍調査にかかる地権者及びその関係団体
目的	国・県の連携を密にし、国土調査業務を円滑に推進させる
根拠法令等	国土調査法、国土調査法施行規則
内 容	国・東海ブロック・県との連携をとり、地籍調査推進の為の情報交換や問題解決に向けた手法の共有に努めました。 高山 I 地区(0.64km)、高山 II 地区(0.74km)、並びに高山外1地区(0.42km)(ともに平成10年以前に着手)の地籍調査について、事業完成に向けて業務を推進しました。 ・当時の測量業務受託業者と連携して既存成果の修正箇所を洗い出し ・経年による土地所有者の変更、分筆・合筆、地目変更等の調査 ・既存成果と新規作業箇所の摺り合わせ、及び三重県・法務局との協議 上友生 I ③地区(0.17km)の地籍調査について、三重県検査を受検し合格しました。
	<u> </u>
	地籍調査訂正業務委託料

事業に要した 主な経費 など

3,046,200円 高山 I 地区 認証申請に伴う成果等修正業務委託 1,330,000円 高山Ⅱ地区 880,000円 570,000円 高山外1地区 上友生 I ③地区 266,200円 561,000円 地籍調査システム(成果管理分) システム等借上料 561,000円 39,000円 三重県国土調査推進協議会負担金 負担金 三重県協議会 3,000円 東海ブロック協議会 7,000円 全国国土調査協会 29,000円 計 3,646,200円

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0	0	0	
		接	地方信	責	0	0	0	0	
		事	その化	T-	0	0	0	0	
全体		業費	一般財	源	3,022	10,693	3,647	12,246	
		貝	合計(A	.)	3,022	10,693	3,647	12,246	
コス			正規職員	業務量	0.20 人	0.40 人	0.50 人	0.50 人	
7	事業費		止炕嶼貝	人件費	1,563	3,106	3,882	3,869	
(F	費	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人	
H		件	竹口巾帼只	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B	()	1,563	3,106	3,882	3,869	
			合計(A+B))	4,585	13,799	7,529	16,115	
	市民1人当たりのコスト(円)			ト(円)	51	155	85	184	

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指		地籍調査の全工程が終了し、	km³	目標	0.20	0.20	0.20	0.20
標	積	三重県の検査に合格した面積	KIII	実績	0.17			
	指標化できない成果調	査業務の習熟度、及び地籍調査へ	の理解	達成	85.0%			

方 継続 土地の境界について、地権者間の協議が調わない等の理由により、事業が中断している地区が残っている。

地権者の不立会や不同意を原因とするもので、今後解消の見込みのない箇所については、筆界未定を調査結果として地 籍調査を完了させる。

牧善家

課題

会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(月)06国土調查費(大事業)01国土調查事業

決算書頁 261

		(云訂	/UI一般云計(秋/U0辰M未負(頃/UI辰未負(日/U0国	工部	可負	((人争未)	い国工部	可重争を	₹
	/	コード	名称			事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	3-2	農業		H16	年度~	R6 年度	0	1-06-01-06-01-02
不	基本事業	2	農業・農村の多面的機能維持向上			部・	課名 等		評価責任者•連絡先
報	事務事	业 夕	国土調査事業(繰越事業)		当署	 			課長 岩野 庄司
	争物争	未石				庄未派共 司	液竹走师		0595-22-9718
	ઝ	会	地袋調本にかかる地族老及びその関係団体						

	対 象	地籍調査にかかる地権者及びその	関係団体		
	目的	地籍の明確化を図り、土地利用の高	高度化に役立てる。		
	根拠法令等	国土調査法、国土調査法施行令			
事務事業の概要	内 容	基準点設置、一筆地調査、一筆地 ・中村 I - ③地区追加分(0.27k㎡) 測量成果(0.37k㎡)を作成しました。 ・中村 I - ③地区(0.10k㎡)及び中村 (令和2年: 基準点設置、一筆地調 地籍図、地籍簿を作成しました。 ・上友生 I ③地区(0.17k㎡)	I-③地区追加分(0.2		
恢重		経費	金額	摘要	
<u> </u>		幸促酉州	97,510円	推進委員調査協力報酬(12名分)	
		地籍調査委託料	8,925,000円	国土調査事業地籍調査(中村 I 一③地区) E II・F I・F II ー1工程業務委託	2,310,000円
				国土調査事業地籍調査(中村 I −③地区追加分)EII・FI・FI −1工程業務委託	6,010,000円
	丰米 ,- 平, ,			令和3年度 国土調査事業地籍調査<上友生 I ③地区>H3·複図作成工程業務委託	605,000円
	事業に要した主な経費	会場借上料	10,000円	地籍調査成果品閲覧会(2回)	10,000円
	土な柱賃	その他の経費	164,520円	消耗品費、通信運搬費、使用料及び賃借料	164,520円

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	4,542	7,734	6,834	13,684	社会資本整備円滑化地籍整備交付金
		接	地方侵	į					
		事	その他	<u>ե</u>					
全体		業費	一般財源		1,524	3,086	2,363	4,635	
体コ		貝	合計(A)	6,066	10,820	9,197	18,319	
ス	事		正規職員	業務量	1.20 人	1.20 人	1.20 人	1.20 人	
۲	事業費		正况职具	人件費	9,374	9,317	9,317	9,285	
+	賀	人	再任用職員	業務量	人	人	人	人	
H		件	サロバル	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.50 人	0.50 人	0.50 人	0.50 人	
			用職員	人件費	954	798	798	809	
			小計(B)	10,328	10,115	10,115	10,094	
			合計(A+B)		16,394	20,935	19,312	28,413	
	市民1人当たりのコスト(円)				182	235	217	324	

9,197,030円

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	指 地籍調査の実施面積	地籍調査を新規に実施した面	km³	目標	0.20	0.20	0.20	0.20
7	地名調査の美加面積	積	KIII	実績	0.27			
	指標化できない成果 着	手中の地区の進捗状況		達成	135.0%			

方 充実 地籍調査は、土地を巡る行政活動・経済活動のすべての基礎データを築くもので、いずれは全国全ての地域で完成される べきものであるが、進捗率が22.71%と低い。

地籍調査の実績を確実に積み上げていくとともに、三重県国土調査推進協議会、並びに東海ブロック国土調査推進連絡協議会を通じて、国に対して手厚い予算措置を強く求めていく。特に測量の専門的な知識や経験が必要となることから、不足するマンパワーの強化や継続的な職員育成により、精力的に実施面積を拡大させていく。

会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)07畜産業費(大事業)01畜産振興事務経費

決算書頁 263

有報	事務事業名	畜産振興事務経費		担当部署	産業振興部農林振興課	課長 堀 久仁寿 0595-22-9712					
	対 象	畜産農家、銘柄牛「伊賀牛」									
	目的	口蹄疫病などの伝染病の予防及び畜産農家の経営安定化、銘柄牛の優良化を図る									
	根拠法令等	産業振興部関係補助金等交付要綱									
事務事業の概要	内 容	生産者等の生産活動に対して助成を図り、銘柄伊賀牛の体質強化を図	会を通じて生産振興・ブランドカ向上に取り組みました。また、畜産 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)								
概要		経費	金額		摘要						
	事業に要した 主な経費 など	負担金、補助及び交付金 	360,000円 7,500,000円 292,990円 利	高保健行 長素牛	牛生産振興協議会負担金 衛生対策事業費補助金 導入助成金 組合振興助成金						
		計	8,719,990円								

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0	0	0	ふるさと応援基金 7,500,000円
		接	地方信	Ę	0	0	0	0	
		事	その化	þ	7,500	7,500	7,500	8,067	
全		業費	一般財	源	1,276	1,480	1,220	1,477	
体コ		貝	合計(A)	8,776	8,980	8,720	9,544	
ス	事		正規職員	業務量	0.25 人	0.30 人	0.30 人	0.30 人	
۲	事業費		工 / 机帆只	人件費	1,953	2,330	2,330	2,322	
+	賀	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
H		件	1711/1900 民	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	1,953	2,330	2,330	2,322	
			合計(A+B))	10,729	11,310	11,050	11,866	
	市民1人当たりのコスト(円)			ト(円)	119	127	124	136	

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	優良素牛導入頭数	いがほくぶ和牛肥育部会の優	頭	目標	500	500	500	500
標	後 及系十等八頭奴	良素牛の導入頭数	迟	実績	497			
	指標化できない成果			達成	99.4%			

方

向

継続

肉牛の肥育を取り巻く状況は、素牛価格の高値が続いていること、肥育農家の減少など厳しい状況が続いています。伊賀 牛についても、生産量が年々減少しており、増頭に向けた施策が必要な状況です。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大を要因とする肉の消費低迷も、肥育農家の経営に大きな影響を与えています。

高値水準が続く素牛の導入について、引き続き支援が必要です。

また「伊賀牛地域内一貫肥育モデル事業」で育てられた伊賀生まれ伊賀育ちの素牛の導入について、育成農家から肥育農家へ繋ぐ方法について、引き続き検討が必要です。

【(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)07畜産業費(大事業)02畜産振興事業費

決算書頁 263

		\ A III	/01 版公前、称/00股件不負、項/01股不負、百/07苗	エ不又	()(+)	- 田 圧 派 2	マテ か.	ж.
		コード	名称		事業期間		会計-	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	3-2	農業	H1	6 年度~	R6 年度	0	1-06-01-07-02-01
本	基本事業	4	地産地消		部	・課名 等		評価責任者·連絡先
報	事務事業名		畜産振興事業費	担当部署	産業振興部	祁農林振興	課	課長 堀 久仁寿 0595-22-9712

					0000 22 0712
	対 象	伊賀牛の生産関係者			
	目 的	伊賀牛の振興および飼養頭数の増	頭を目指す		
	根拠法令等	産業振興部関係補助金等交付要網	、旧伊賀市食肉センク	ターの施設閉鎖後の管理にかかる協定書	
事務事業の概要	内 容	和牛素牛を生産するための施設(C している素牛生産に関する技術・知 ル事業」を開始しました。3年度には モデル事業の委託料において、黒 ②伊賀牛振興の拠点であった伊賀 建設した「伊賀肉冷蔵センター」の追	S:キャトルステーショ 見を獲得するためのを 49頭の子牛が伊賀生 6和種子牛登記にかか 市食肉センターが平成 運営に対し支援を行い のと畜場を利用するこ	こととなった市内の食肉事業者に対し、生体	ョン)の整備に向け、不足 4年地域内一貫肥育モデ こ。 5年度に新たな拠点として
似 亜		経費	金額	摘要	
<u> </u>		需用費	4,990円	消耗品	4,990円
		委託料	940,195円	伊賀牛地域内一貫肥育モデル事業業務委託	6料 940,195円
			76,659円	旧食肉センター草刈委託料	76,659円
	古光に正した	使用料及び賃借料	4,380円	有料道路通行料	4,380円
	事業に要した主な経費	積立金	25,157円	伊賀市食肉センター施設整備等基金積立	左金 25,157円
	エな屁員など	負担金、補助及び交付金	2,452,417円	伊賀牛振興補助金(伊賀肉冷蔵センター運営助	
	5.2			伊賀牛振興補助金(生体輸送費助成	(;) 1,442,000円
		計	3,503,798円		

						•	"		
			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	490	500	470	500	①地方創生推進交付金(経費1/2) 伊賀牛地域内一貫肥育モデル事業業務委託料
		接	地方侵	ŧ	0	0	0	0	伊貞午地域内一員肥肖モアル事業未務安託科 940,195円
		事	その他	<u>b</u>	291	53	20	53	②その他
全		業費	一般財	源	4,594	3,253	3,014	1,619	食肉センター負担金(名張市) 20,412円
体コ		貝	合計(A)	5,375	3,806	3,504	2,172	
ス	事		正規職員	業務量	0.25 人	0.27 人	0.27 人	0.27 人	
7	事業費		工况极负	人件費	1,953	2,097	2,097	2,089	
1	費	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
占		件	竹口加帆貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	1,953	2,097	2,097	2,089	
			合計(A+B))	7,328	5,903	5,601	4,261	
	市民1人当たりのコスト(円)			81	67	63	49		

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	伊賀肉冷蔵センターの利	利用頭数	頭	目標	729	729	729	729
標	用数	州 用與奴	珙	実績	614.5			
	指標化できない成果			達成	84.3			

方 継続 引き続き伊賀牛の増頭に関する検討と伊賀地域内で素牛生産技術・知見を獲得するため「伊賀牛地域内一貫肥育モデル

ています。

伊賀肉冷蔵センターの利用数向上のため、関係機関と協議を行います。

<u>整理番号</u> 300 - (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)08新型感染症対策費(大事業)01新型感染症対策 事業

事業期間

名称

決算書頁263

会計-款-項-目-大事業-中事業

奉	施策	3-2	農業		H16	年度~ R2 年度	01-06-01-08-01-01		
本	基本事業	4	地産地消			部・課名 等	評価責任者·連絡先		
報	事務事	業名	畜産振興事業費		担当部署	産業振興部農林振興課	課長 堀 久仁寿 0595-22-9712		
	対:	象	市内で養豚業を営む、市内に住所を	を有する個人又は市内に	こ主たる事	業所を置く法人			
	目	的	市内養豚場における豚熱再発防止と、新型コ	ロナウイルス感染症の感染拡	な大により経営に影響を受けている市内養豚事業者の持続可能な畜産経営を図る				
	根拠法	令等	伊賀市豚熱再発防止ワクチン接種語	支援事業費補助金交付	·要綱				
事務事業の概	内:	容	補助対象者は、市内で養豚業を営 補助金の対象となる経費は、令和 クチン接種に係る手数料230円です 補助金の額は、ワクチン接種回数 める額の範囲内としています。 ワクチン接種回数にして、延べ14,	年3月31日 3分の2の	までの間に、市内養豚場の額(ただし、100円未満の端	飼育豚に実施した豚熱ワ数は切捨て)で、予算に定			
概要			経費	金額		摘要			
女	事業に 主な なと	¥費	負担金、補助及び交付金	2,178,100円 月	豕熱再発防 .	止ワクチン接種支援事業費補	前金 2,178,100円		

						•	*		•
			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出	0	0	0	0	伊賀市新型コロナウイルス感染症対策基金繰
		接	地方侵	į	O	0	0	0	入金
		事	その他	<u>p</u>	O	0	2,178	2,250	
全体		業費	一般財	源	7,406	0	0	0	
体コ		貝	合計(A)	7,406	0	2,178	2,250	
ス	事業費		正規職員再任用職員	業務量	0.10 人	0.00 人	0.10 人	0.00 人	
+				人件費	782	0	777	0	
Ŷ Ŧ	費	人		業務量	0.00 人	0.00 人	0.10 人	0.00 人	
H		件	丹口加顿貝	人件費	O	0	354	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.10 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	160	0	
			小計(B)	782	0	1,291	0	
			合計(A+B))	8,188	0	3,469	2,250	
	市民1人当たりのコスト(円)			ト(円)	91	0	39	26	

2,178,100円

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	ワクチン接種回数	予算策定時に想定した接種回数(上限)と、補助申請のあっ		目標	25000	0	0	0
標	フソテン接種回奴	た接種回数	Ш	実績	14211			
	指標化できない成果			達成	56.8%			

方 完了 向 令和2年に市内で発生した豚熱の対策として、ワクチン接種や野生動物の侵入防止対策など養豚業者の負担が大きくなっていたことから、負担軽減による事業継続支援を目指し創設したもので、豚熱(CSF)の発生予防、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている市内養豚業者の畜産経営に対する一助となれたと考えています。

本制度は、令和4年3月31日をもって終了しています。

計

※令和4年度は、新たに「伊賀産肉牛流通安定対策事業」を実施します。

整理番号 (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)01農業費(目)08新型感染症対策費(大事業)01新型感染症対策 名称 事業期間 会計-款-項-目-大事業-中事業 コード 施策 3-2 農業 R3 年度~ R3 年度 01-06-01-08-01-03

263

本	基本事業 ①	農畜産物の生産振興			部・課名 等	評価責任者•連絡先
報	事務事業名	事務事業名 伊賀米等生産振興事業 対 象 市内の米生産販売農家		担当 部署	産業振興部農林振興課	課長 堀 久仁寿 0595-22-9712
						0595-22-9712
	対 象	市内の米生産販売農家				
	目的	コロナ禍における急激に販売価格の	下落した米について、販	売価格の-	一部を補填し、伊賀米生産者の	の営農意欲の維持を図る
	根拠法令等	伊賀米次期作支援事業補助金交付	丁要綱			
事務事業の	内 容	令和4年1月1日以後引き続き市成物検査を受けて、令和4年2月28日ついて全国農業共済組合連合会が策制度)の申請をしている方は、対議補助金の額は、出荷、又は販売し当たりの米の量を30キログラムとしなお、当補助金に関する申請書等業務委託を行いました。交付実績申請者延べ件数 2,230交付金額 56,590,250※令和3年度限りの事業です。	までに出荷又は販売した 実施する収入保険制度 象外としました。 た令和3年産主食用米(て算出した数としており、 ・発送業務、申請書等の	と方を対象に加入しての袋の数に の袋の数に、袋の数に 受付及び	に補助を行いました。ただしている、又は米の収入減少影 こ、250円を掛けた値としました 1未満の端数があるときは、	、令和3年産主食用米に響緩和交付金(ナラシ対 っ。なお、袋の数は、1袋切り捨てとしました。
経費 金額 摘要 委託料 負担金、補助及び交付金 1,476,696円 56,590,250円 伊賀米次期作支援事業にかかる業務委託 伊賀米次期作支援事業補助金						

			項目		R2年度決算	Ī	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出		0	0	0	(伊賀市新型コロナウイルス感染症対策基金繰
		接	地方侵	岬		0	0	0	(入金
		接事	その他	T		0	0	58,067	(D
全体コ		業費	一般財	源		0	0	0	(
	事業費	貝	合計(A)		0	0	58,067	(
ス			正規職員	業務量	0.00	人	0.00 人	0.52 人	0.00 人	
7				人件費		0	0	4,038		0
1	費	人		業務量	0.00	人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
円		件	中口用赖貝	人件費		0	0	0		0
· ·		費	会計年度任	業務量	0.00	人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費		0	0	0	(
			小計(B)		0	0	4,038	(
			合計(A+B)			0	0	62,105		
	市民1人当たりのコスト(円)				0	0	696	(

58,066,946円

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	申請の袋数	申請金額の根拠となる伊賀米	袋	目標	250000	0	0	0
標	中間の表数	の袋数	衣	実績	226361			
	指標化できない成果			達成	90.5%			

完了

※令和3年度限りの事業です。

計

※令和3年度限りの事業です。

整理番号 302 -

┃ (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(月)01林業総務費(大事業)02事務管理経費 決算書頁 265

			/01 版玄前(秋/00展怀朱貞(境/02/怀朱貞(日/01/14	一个 小心 1刀,	貝(ハザ木)		5 /工小工 3	
		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	3-3	森林保全·林業	H10	6 年度~	R6 年度	0	1-06-02-01-02-01
本	基本事業	2	森林資源の利活用		部	・課名 等		評価責任者·連絡先
報	事務事	業名	事務管理経費	担当部署	産業振興部	R農林振興	1課	課長 堀 久仁寿
	チカチ	ж-п	学 加日在框具	ī	庄 木 版 八 1	PIETIN ST		0595-22-9712

	,	7 37 2 - 1-22			0595-22-9712				
	対 象	林業振興事業を実施するために必	要な事務費用等						
	目的	林業振興事業を円滑に実施する							
根拠法令等									
事務事業の概要	内 容	経常経費です。 ・消耗品費 ・光熱水費 ・委託料 ・使用料及び賃借料 林地台帳シ ・負担金、補助及び交付金	ステムクラウド使用料						
概要		経費	金額	摘要					
X	事業に要した 主な経費 など	需用費 委託料 使用料及び賃借料 負担金、補助及び交付金	3,334円 299,200円 283,340円 オ 470,000円	肖耗品費(青山支所) 光熱水費 草刈業務委託料(青山支所 みどり) 有料道路通行料 林地台帳システムクラウド使用料 三重県緑化推進協会負担金 三重県森林協会負担金	8,729円 3,334円 公園) 299,200円 6,140円 277,200円 30,000円 440,000円				
		計	1,064,603円						

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		古	国県支出	出金	0	0	0	0	
		直接事	地方債	Ę	0	0	0	0	
		事	その他	<u> </u>	0	0	0	0	
全		業費	一般財源		1,107	1,241	1,065	852	
体コ			合計(A)	1,107	1,241	1,065	852	
ス	事業費			業務量	0.11 人	0.02 人	0.02 人	0.02 人	
7		人		人件費	860	156	156	155	
1	費			業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
Ė		件	竹口加帆貝	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	860	156	156	155	
			合計(A+B)		1,967	1,397	1,221	1,007	
	市	民1人	、当たりのコス	ト(円)	22	16	14	12	

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	_			目標		1	-	1
標	_	_		実績	1			
	指標化できない成果事	務費の為指標化不可		達成	_			

方 継続 林地台帳システムクラウド使用料が高額であるため、林業者及び市民に対し林地台帳の利用促進のための周知及び、林業関係データの集約に活用する必要があります。

林地台帳システムの利用について、伊賀市ホームページにて周知します。 森林法に基づく届出等の情報を林地台帳システムに反映させます。 整理番号 303 -

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)02森林振興事業

決算書頁 265

_		八五山	/01 一放云引 (秋/00辰怀未复(境/02怀未复(日/02怀	未派兴]	貝(八尹禾)	ロム本本で作り	5 世界到	₹
		コード	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	3-3	森林保全·林業	H16	年度~	R6 年度	0	1-06-02-02-02-01
本 桂	基本事業	1	森林環境の整備		部	• 課名 等		評価責任者·連絡先
報	事務事	業名	森林環境創造事業	担当 部署	産業振興部	『農林振興	課	課長 堀 久仁寿
								0595-22-9712

報	事務事業名	森林環境創造事業		部署	産業振興部農林振興課	課長 堀 久仁寿 0595-22-9712							
	対 象	環境林整備計画に位置づけられた。	森林										
	目的	環境林整備計画に基づき間伐等適	竟林整備計画に基づき間伐等適正管理を行うことで、環境林の持つ多面的機能を発揮できる										
	根拠法令等	森林環境創造事業実施要領											
事務事業の既要	内 容	環境林整備計画に位置付けられた森林において、調査等を実施した上で、森林の多面的機能を高く発揮できる森林(下などの下層植生が繁茂し、水源かん養機能や山地災害防止機能の高い森林)にするため、強度の間伐等を計画的に実施する環境林整備を行いました。 ・間伐 16.42ha ・委託先 伊賀森林組合											
既 要		経費	金額		摘要								
	事業に要した 主な経費 など	報酬 旅費 委託料	8,399円 🖟	森林管理 森林環境創	劦議会委員 報酬 劦議会委員 旅費 創造事業委託料 ∶伊賀森林組合								

							-	•		•
			項目		R2年度決算	Į	R3年度当初予算	R3年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	金出	3,5	596	3,457	3,853	3,96	0 森林環境創造事業費補助金 1,707,200円
		接	地方侵	į		0	0	0		- 美しい森林づくり基盤整備交付金 2,145,000円
		事	その他	þ		0	0	0		0
全体		業費	一般財	源	Ę	535	1,195	506	69	0
体コ		貝	合計(A)	4,1	131	4,652	4,359	4,65	0
コス	事		正規職員	業務量	0.10	人	0.11 人	0.11 人	0.11 人	
۲	事業費		正况鸭貝	人件費	7	782	855	855	85	2
(F	費	人	再任用職員	業務量	0.00	人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
円		件	竹口巾帆貝	人件費		0	0	0		0
)		費	会計年度任	業務量	0.00	人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費		0	0	0		0
			小計(B)	7	782	855	855	85	2
			合計(A+B))	4,9	913	5,507	5,214	5,50	2
	市民1人当たりのコスト(円)				55	62	59	6	3	

4,358,399円

指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指 環境林整備面積	間伐により森林整備を行った	L	目標	18	16.4	17	18
環境外 定 偏面積 標	面積	ha	実績	16.42			
指標化できない成果			達成	91.2%			

方 継続 向 環境林整備の必要性は高いのですが、三重県の施策に基づく事業で、国・県の補助金を財源として実施する事業であるため、補助金の予算配分の関係から年々事業量が減少しています。

・三重県に補助金予算を増やしていただけるよう要望します。

計

[・]環境林整備を、他の財源を用いた事業(森林環境譲与税事業及びみえ森と緑の県民税市町交付金事業)においても進めます。

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)02森林振興事業

決算書頁 265

	4		/01 股去計(級/00展件未負(現/02件未負(日/02件	木派兴县	1 (八学木/	ロム本本でかり	以兴争。	₹
		П 1	名称		事業期間		会計-	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	3-3	森林保全・林業	H16	年度~	R6 年度	0	1-06-02-02-02-05
本	基本事業	1	森林環境の整備		部	・課名 等		評価責任者·連絡先
報	事務事	業名	緊急間伐·搬出間伐推進事業	担当 部署	産業振興部	『農林振興	課	課長 堀 久仁寿
								0595-22-9712

事務事業名	緊急間伐・搬出間伐推進事業		部署	産業振興部農林振興課	0595-22-9712								
対 象	伊賀市内の森林												
目的	森林所有者の間伐作業を推進し森	林所有者の間伐作業を推進し森林整備が適正に行われるようにする											
根拠法令等	森林の間伐等の実施の促進に関す	林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法、緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金交付要綱											
内 容	した。 搬出間伐に対して助成することに。 ・緊急間伐・搬出間伐推進事業者 申請件数 70件 間伐本数 21,201本(内、搬出 間伐面積 59.80ha	搬出間伐に対して助成することにより、間伐材の有効利用と林業の活性化を促しました。 ・緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金申請件数 70件間伐本数 21,201本(内、搬出間伐6,776本 切捨間伐14,425本)											
	経費 金額 摘要												
事業に要した 主な経費 など	負担金、補助及び交付金 消耗品費	·搬出間伐推進事業補助金											

						計		6,19	0,268円			Ш
			項	目		R2年度決	算	R3年度当初予算	R3年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等	
		直	国	県支出	金	2	,094	2,750	2,355	2,300	美しい森林づくり基盤整備交付金 2,355,000F	9
		接	:	地方債	FIE		0	0	0	0		
		接事		その他	μ		0	0	0	0		
全 体		業費	_	-般財	源	4	,719	5,954	3,836	6,465		
体コ		貝	合	計(A))	6	,813	8,704	6,191	8,765		
コス	事		正規耶	幸 昌	業務量	0.20	人	0.23 人	0.23 人	0.23 人		
7	事業費		正戏和	以 貝	人件費	1	,563	1,786	1,786	1,780		
(+	費	人	再任用	四曲	業務量	0.00	人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
円円		件	丹江历	- 収貝	人件費		0	0	0	0		
)		費	会計年		業務量	0.00	人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
			用職	員	人件費		0	0	0	0		
			小	計(B)	1	,563	1,786	1,786	1,780		
		合計(A+B)			8	,376	10,490	7,977	10,545		1	
	市民1人当たりのコスト(円)				(円)		93	118	90	121		

指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	町伐州の有別州川及の外来	0/	目標	35	35	37	40
間伐本数に占める脈出間伐本数の割合	の活性化を示す	70	実績	32			
指標化できない成果			達成	91.4%			

方 継続 旧青山町から継続されている伊賀市独自の事業で、自伐型林業従事者を中心に林業支援を行う事業です。 例年、予算額を超える数量の申請がありますが、申請者の多くは間伐業務を林業従事者に委託している状況です。森林 所有者の高齢化、所有山林に対する無関心が進んだことが原因で、林業を生業とする従事者の減少が見られます。 また、間伐本数に占める搬出間伐の割合が約3割程度であり、間伐材の有効利用があまりなされていません。

伊賀市未来の山づくり協議会 人材育成部会において、林業従事者の増加に向けた人材育成について検討します。 作業道整備補助金制度の設立等検討を行い、搬出間伐を促進します。

会計)01一般会計(勢)06農林業费(頂)02林業费(日)02林業振興费(大事業)02泰林振興事業

決算書頁 265

<u> </u>		(조리	/01一放云司(秋/00辰外未复(頃/02外未复(日/02外	未恢	哭貝	[(入争未)	UZ林竹竹	は、手手の	₹
		コード 名称				事業期間		会計場	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	3-3	森林保全·林業		H28	年度~	R6 年度	0	1-06-02-02-02-07
本 桂	基本事業	1	森林環境の整備			部・	·課名等		評価責任者•連絡先
報	事務事	業名	流域防災機能強化対策事業	担当部署		産業振興部	3農林振興	.課	課長 堀 久仁寿
									0595-22-9712

7.007.7.1	がい ストンス にんこう 人で ストンストング		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		0595-22-9712					
対 象	渓流沿い等の森林整備									
目 的	流域における防災機能を強化する	為、土砂流出の危険性な	が高く、早急な	な整備が必要とされる箇所の	の森林整備を行う					
根拠法令等みえ森と緑の県民税条例										
内 容	【災害緩衝林一体型】 みえ森と緑の県民税を活用して県が実施する災害緩衝林整備事業の整備範囲の森林と一体的に整備することで、防災機能をより強化する森林 【環境林・特定水源地域】 伊賀市森林整備計画に定める県ゾーニングが環境林、又は三重県水源地域の保全に関する条例で、特定水源地域に指定されている森林 上記の森林において、水源のかん養機能を始めとした多様な公益的機能の持続的かつ高度な発揮を目指す新たな取組として、下層植生や広葉樹の導入を目的とした間伐を継続的に行うことで、多様で力強い森林づくりを行います。 ・間伐等(災害緩衝林一体型):22.1ha、(環境林・特定水源地域)22.55ha ・委託先:伊賀森林組合									
	経費	金額		摘要						
事業に要した 主な経費 など	委託料	16,808,000円 🥻		能強化対策事業業務委 賀森林組合	託					

			· ·						
			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算		
		直	国県支出	金出	7,810	47,500	16,808	45,815	みえ森と緑の県民税市町交付金
		接	地方侵	Ė	0	0	0	0	16,808,000円
		接事	その他		0	0	0	0	
全		業費	一般財	源	0	0	0	0	
体コ		頁	合計(A))	7,810	47,500	16,808	45,815	
コス	事		工担聯号	業務量	0.10 人	0.15 人	0.15 人	0.15 人	
7	· 業 費		正規職員	人件費	782	1,165	1,165	1,161	
+	費	人	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
一円		件	丹江川嶼貝	人件費	0	0	0	0	
:)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	782	1,165	1,165	1,161	
			合計(A+B))	8,592	48,665	17,973	46,976	
	市	民1人	、当たりのコスト	ト(円)	95	546	202	536	

16,808,000円

計

指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指 間伐面積	事業において間伐を実施した	h-a	目標	200	135	135	135
间化画慎 票	面積	ha	実績	44.65			
指標化できない成果			達成	22.3%			

継続

当市が計画する環境林事業面積に必要な予算と、みえ森と緑の県民税の交付金額に差異があるため、事業の進捗を図 るのが難しい状況です。

| 三重県に事業実施に必要となる予算を要望すると共に、水源かん養機能を発揮させる森林の優先度の高い森林から環境 | 林整備を進めます。 | 善

(会計)01一般会計(勢)06農林業費(項)02林業費(日)02林業振興費(大事業)03川村振興事業

決算書頁 265

		【五引	/01 一放云引 (款/00辰怀未复(填/02怀未复(日/02怀	未派兴到	1(八尹禾/	ОЗЩ竹切	快争	未
		コード	名称	事業期間 会計-				款-項-目-大事業-中事業
基本	施策	3-1	観光	H16	年度~	R6 年度	0	1-06-02-02-03-01
	基本事業	2	観光客の受け入れ	担当	部	・課名 等		評価責任者·連絡先
情報	事務事業名		ハーモニー・フォレスト維持管理経費		青山支所扱	: 網里		課長 大岡 宏
	子初子	ж-п	ア・ピー フォレハ 唯国 日本性食	部署	有山文州派英硃			0595-52-1112
		-						

報	事務事業名	ハーモニー・フォレスト維持管理経費	E .	部署	青山支所振興課	珠女 人岡 宏 0595-52-1112			
	対 象	市民及び市外(都市)住民							
	目的	都市と川上ダム上流域の地域資源	を活用した山村の交流	を促進し、	地元地区の地域活性化に努め	める。			
	根拠法令等	青山ハーモニー・フォレストの設置及び管理に関する条例							
事務事業の概要	内 容	・青山ハーモニー・フォレストの管理ました。 ・指定管理者は、施設利用者を増や・新型コロナウィルス感染症対策に付での期間は緊急事態宣言が発令さ・施設内に新たにウッドテラスを設置(オートキャンプ場利用者数) R1:1(バーベキュー場利用者数) R1:1(パークゴルフ場利用者数) R1:1・乗用草刈機、学習棟エアコン、街路	ですための自主事業を開 半う屋外レジャーニーズ れましたので有料施設で しました。 ,664人 R2:2,732人 F 1,044人 R2: 494人 F ,183人 R2:1,457人 F	開催しました での高まりに の営業を停 R3:3,679人 R3:443ノ R3:1,912ノ	こ。(星空カフェ、アイスクリー」 こより、多くの利用がありました 『止しました。 、(内日帰り:493人) 、	ム販売等)			
概要		経費	金額		摘要				
_		委託料	i i		ー・フォレスト指定管理料				
		閏者:種生区)							
	事業に要した 主な経費 など								

			-E-D		D.0 左连边签	DO左连小拉又答	D0左座边签	5.4左左火丸又左	サラネスラフ 棚/建筑サ井 サウルでのながない
			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予昇	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0	0	0	
		接	地方債	責	0	0	0	0	
		接事	その他 一般財源		0	0	0	0	
全体		業費			5,606	6,882	6,882	7,599	
体コ	事業費	貝	合計(A)	5,606	6,882	6,882	7,599	
コス			正規職員	業務量	0.24 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
7		人	正况啾貝	人件費	1,875	777	777	774	
+	費		再 任田融昌	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人	
円		件	再任用職員	人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	1,875	777	777	774	
		合計(A+B)			7,481	7,659	7,659	8,373	
	市民1人当たりのコスト(円)			ト(円)	83	86	86	96	

6,881,189円

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	佐弘左閏利田老粉	指定管理者が、前年度利用者		目標	10000	11600	12000	12500
標	施設年間利用者数	数を下回らないようイベント内 容の検討を行っている。		実績	11550			
	指標化できない成果			達成	1.155			

方 継続 施設設備の経年劣化に対応するため適時更新する必要がある。

計

新型コロナウィルス感染症に伴う屋外レジャーの需要が追い風となり増加した利用者をリピーターとして継続して来ていただけるよう運営する必要がある。

指定管理者と協働し、施設の良好な維持管理に努めるとともに、地域の観光資源を活用した仕組みづくりや、新たな事業 の構築により、施設利用者の拡大を目指す。

 整理番号

 307

 (今計)01一般今計(款)06農林業費(項)02林業費(月)02林業振興費(大事業)04治川林道維持経費

決算書頁 265

		八五川	/01 一放云引 (秋/00辰怀未复(境/02怀未复(日/02怀	未派兴!	1(八字末/	04/0 Ш/й	下坦州1	付胜其
		니	名称		事業期間		会計一	款-項-目-大事業-中事業
基	施策	3-3	森林保全·林業	H16	年度~	R6 年度	0	1-06-02-02-04-01
本	基本事業	1	森林環境の整備		部	・課名 等		評価責任者·連絡先
情報	事務事	業名	治山林道維持経費	担当 部署			課	課長 岩野 庄司
	7.10.4	ж ц	7 PARENTER		三木 瓜八日	17JQ 1 J 1E I/II	I HNI	0595-22-9718

対 象	対象林道の受益者			
目的	緊急自然災害防止対策事業債によ	り、林道の安全対策を	-行う	
根拠法令等	伊賀市林道維持管理規定			
内 容	市が直轄管理する基幹林道総延長 ・路肩除草 N=8件 A=52.947m ・舗装補修 N=4件 ・原材料費(道路補修材購入) N: 地元管理林道関係の維持管理を行 小規模土地改良事業等補助金 工事費補助 N=1件 材料費補助 N=3件	n [*] =1式	世を行いました。	
	経費	金額	摘要	
	修繕料	1,444,300円	林道摺見妙楽地線舗装補修工事	471,900円
			林道槙野谷線維持修繕ほか5件(大山田支所)	938,300円
			林道三国越線側溝清掃(島ケ原支所)	34,100円
事業に要した	委託料	3,081,200円	草刈業務委託料 8箇所	2,872,200円
主な経費			うちシルバー委託1・地元委託7	_
など			森林管理巡視業務委託(大山田支所)	209,000円
	原材料費	69,150円	資材費(排水桝他)	18,150円
			施設補修材料費(舗装補修資材)	51,000円
	負担金、補助及び交付金	1,369,220円	小規模土地改良事業等補助金	1,369,220円
			工事費1件 材料費3件	

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	0	0	0	0	
		接	地方侵	į	0	0	0	0	
		事	その他		0	0	0	0	
全		業費	一般財源		5,937	4,882	5,964	5,919	
体コ			合計(A)		5,937	4,882	5,964	5,919	
ス	事業費		正規職員	業務量	0.20 人	0.20 人	0.21 人	0.21 人	
7		人	止炕帜只	人件費	1,563	1,553	1,631	1,625	
+			再任用職員会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人	
H		件		人件費	0	0	0	0	
)		費		業務量	0.00 人	0.00 人	人	人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	1,563	1,553	1,631	1,625	
			合計(A+B)		7,500	6,435	7,595	7,544	
	市民1人当たりのコスト(円)					73	86	86	

5,963,870円

指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指 最終予算の執行率	最終予算の執行割合	%	目標 100 100		100	100	100
標	取於「好の採用引口	/0	実績	97.96			
指標化できない成果			達成	98%			

方 継続 過疎化・高齢化により林業従事者が減少しているため、林道維持管理が困難となっている。

林道維持管理を行えるよう、緊急自然災害防止対策事業債等の新たな財源を活用し林道橋等の施設整備を行う。

改善家

<u>整理番号</u> 308 - (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)06みえ森と緑の県民税市 町交付金事業

事業期間

名称

コード

決算書頁 265

会計-款-項-目-大事業-中事業

			10.107			十个四回		AH 19	N
基	施策	3-3	森林保全・林業		H16	年度~	R6 年度	01	-06-02-02-06-02
本情	基本事業	1	森林環境の整備		15.44	部	• 課名 等		評価責任者•連絡先
報	事務事	华夕	みんなの里山整備活動推進事業		担当部署	産業振興部	7 典 ## #E 飼	= ⊞	課長 堀 久仁寿
1104	争伤争	未有	の心なの主山笠浦石刬推進事業		HP/13	性未派央 口	1层怀派兴	·irk	0595-22-9712
	対	会	地域の暮らしに身近な森林						
	目	的	災害に強い森林づくりとして、地域住	民による暮らしに身近	な森林整備	帯の体制づ	(1)		
	根拠法	令等	みえ森と緑の県民税条例、みんなの	里山整備活動推進事	業補助金3	を付要綱			
事務事業の概要	内	容	緑の環境づくりや生活に密着した里 て、必要経費を交付しました。 交付自治会数 30自治会(区 補助金交付金額 6,569,000F	Σ)	がに、自治 :	会等の地域	住民が実施	を する ボ	ランティア活動に対し
概更			経費	金額			摘要	Ę	
***************************************	事業に 主な なる	圣費	負担金、補助及び交付金	6,569,000円 ā	みんなの§ 30自治		動推進事	業補助]金

			項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直	国県支出	出金	5,800	6,840	6,569	9,120	みえ森と緑の県民税市町交付金
		接	地方債	į	0	0	0	0	6,569,000円
		事	その他		0	0	0	0	
全		業費	一般財源		0	0	0	0	
体コ			合計(A)		5,800	6,840	6,569	9,120	
ス	事業費		正規職員	業務量	0.10 人	0.52 人	0.52 人	0.52 人	
7		人	工 / 机帆只	人件費	782	4,038	4,038	4,024	
+			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
H		件		人件費	0	0	0	0	
)		費	会計年度任	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			用職員	人件費	0	0	0	0	
			小計(B)	782	4,038	4,038	4,024	
			合計(A+B))	6,582	10,878	10,607	13,144	
	市	旲1人	、当たりのコス	ト(円)	73	122	119	150	

6,569,000円

	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指	活動参加人数	里山・森林の再生のためのボ	1	目標 1300 1350		1350	1400	1,500
標	冶 到参加八致	ランティアに参加した人員	^	実績	1,209			
	指標化できない成果			達成	80.6%			

方 充実 多面的機能を有する森林に関し、その効果を効果的に発揮するために、身近な森林である里山を整備するとともに、地域の方によって里山を守ることができる社会づくりの醸成が必要です。

本事業に申請いただく自治会(区)は年々増加しているので、今後は一部の方だけでなく地域の多数の住民の方が作業に参画いただけるよう、制度、申請に関する相談の際に啓発を行います。

<u>整理番号</u> 309 - (会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)06みえ森と緑の県民税市 町交付金事業

決算書頁 265

		コード	名称	事業期間				会計-款-項-目-大事業-中事業		
基	施策	3-3	森林保全·林業		H26	年度~	R6 年度	0	01-06-02-02-06-03	
本	基本事業	2	森林資源の利活用			部・課名 等		評価責任者·連絡先		
報	事務事業名		伊賀の森っこ育成推進事業		当署	産業振興部農林振興課			課長 堀 久仁寿 0595-22-9712	

報	事務事業名	伊賀の森っこ育成推進事業		部署	産業振興部農林振興課	課長 堀 久1 <u>寿</u> 0595-22-9712								
	対 象	市内の小中学生												
	目的	次世代を担う子どもたちの森林環境への理解と関心を深める												
	根拠法令等	みえ森と緑の県民税条例、伊賀の系	なっこ育成推進事業補助	助金交付要	· [編									
事務事業の概要	内 容	小学校は6年生の学級数あたり、動・体験活動などに対して補助を行 14団体 2,080,288円		3年生の学級数あたり10万円を上限として、森林環境・林業等に関する学習活。										
要		<u> </u>	金額		摘要									
	事業に要した 主な経費 など	負担金、補助及び交付金		伊賀の森	つこ育成推進事業補助金	2,080,288円								
		計	2,080,288円											

		項目			R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	事業費	直	国県支出金		1,782	3,000	2,080	3,000	みえ森と緑の県民税市町交付金	
		接	地方債		0	0	0	0	2,080,288円	
		事業費	その他		0	0	0	0		
			一般財源		0	0	0	0		
		貝	合計(A)		1,782	3,000	2,080	3,000		
		人件費	正規職員	業務量	0.15 人	0.17 人	0.17 人	0.17 人		
				人件費	1,172	1,320	1,320	1,316		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任 用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			小計(B)	1,172	1,320	1,320	1,316		
			合計(A+B))	2,954	4,320	3,400	4,316		
	市民1人当たりのコスト(円)				33	49	39	50		

指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指補助金申請団体数	当該補助金を申請した小中学	団体	目標	20	23	26	30
標	校数		実績	14			
指標化できない成果			達成	70%			

方 継続 平成26年から開始した事業でもあり、改めて森林環境教育についての理解と関心を周知していくように工夫する必要があります。